



令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事

金抜設計書

工事番号 2022122000

工事名 令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事

施工場所 加東市北野314番地2（市営住宅北野団地）

兵庫県 加東市

[illegible]

[illegible]

[illegible]

1. 1号棟

[illegible]

2. 自転車置場

[illegible]

[illegible]

[illegible]

1. 1号棟						
防水改修				改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
合成高分子系 ルーフィングシート防水	SI-M2 機械固定工法(130㎡) 塩化ビニル樹脂 表面塗装なし — シール材共	1	式			
合成高分子系 ルーフィングシート防水	S-F2 接着工法 塩化ビニル樹脂 表面塗装なし — シール材共	27.9	㎡			
防水下地	ポリマーセメント系	158	㎡			
防水押え金物	アルミ製 シート防水用	27	m			
水切り金物	アルミ製 シート防水用	25	m			
入隅用塩ビ被覆鋼板		69.3	m			
脱気装置		3	個			
アスファルトシン グル葺き		34.4	㎡			
軒先唐草・水切	補強フレームt=0.8共	19.6	m			
ケラバ唐草・水切		14.4	m			
塗膜防水	X-2 密着工法 クレタコン系 平面 表面塗装シールパ	150	㎡			
ドレン新設	改修用塩ビ製 横引き	6	個			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2NB) 20×10	603	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	406	m			
手摺改修	ドリル穴あけ φ12 無収縮モルタル充填 H=60	65	か所			
アルミ笠木新設	W=180 直線	44.6	m			
アルミ笠木新設	W=180 コーナー	4	か所			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カラー)	径50	4.4	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カラー)	径65	10.2	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カラー)	径75	15.3	m			

[illegible]

[illegible]

1. 1号棟						
外壁改修			改修			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
階段ビニル床シート	マフール 厚さ2.5 複層ビニル床シートFS	35.3	m ²			
モルタル補修	段鼻撤去部	1.9	m ²			
玄関室名札	仮撤去復旧	6	か所			
郵便受	仮撤去復旧	1	か所			
掲示板	仮撤去復旧	1	か所			
衛生アンテナ	仮撤去復旧	2	か所			
避難用ステッカー 貼り	12か所	1	式			
ガラス清掃		84.1	m ²			
玄関室名札 清掃		6	か所			
郵便受 清掃	SUS製	1	か所			
号棟表示番号 清掃	SUS製	1	か所			
ベランダ物干し金 物 清掃	アルミ製	12	か所			
タラップ 清掃	SUS製	3	m			
手すり 清掃	アルミ製	66.4	m ²			
手すり 清掃	SUS製	14.8	m ²			
室外機移動・復旧		6	台			
植栽剪定		24.8	m ²			
下地調整 改修仕様	コンクリート面 RB種(塗替え面)	593	m ²			
下地調整 改修仕様	鉄鋼面 RB種(塗替え面)	18	m ²			
下地調整 改修仕様	亜鉛めっき鋼面 RB種(塗替え面)	2	m ²			

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

令和4年度 社会資本整備総合交付金事業
市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事

[illegible]

記 事	加 東 市 役 所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 T E L 0 7 9 5 - 4 2 - 3 3 0 1 (代表)	所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事		設計図	整理番号	図面番号
							日 付	図面リスト	§=NS	§=		A-000
							2022.7		§=	§=		

※図面表記縮尺はA2印刷の場合の縮尺とし A3縮小印刷の場合はNS(ノスケール)とする

建築改修工事特記仕様書

〔1〕工事概要

1. 工事場所 兵庫県加東市北野314番地2

2. 敷地面積 2771.30㎡

3. 建築物概要

棟名	構造	階数	建築面積〔㎡〕	延べ面積〔㎡〕	備考
1号棟	RC壁式構造	3	150.11	434.79	
倉庫	OB造	1	20.93	20.93	
LPG倉庫	OB造	1	6.55	6.55	
自転車置場	OB造	1	12.18	12.18	

4. その他

〔2〕適用範囲

現場説明事項書(質疑回答書を含む)、本特記仕様書、図面、標準仕様書に示す範囲とする。
すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。
上記の標準仕様書とは、国土省営繕部編集「公共建築改修工事共通仕様書をいう。(以下、これを「改修標準」という。)
本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「改修標準」の適用を受けるものとする。

〔3〕工事区分

設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

〔4〕工事仕様

1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標準」のほか別記の適用基準による。
2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が打消された場合は、●印のみ適用する。
4. 項目及び特記事項に記載の() 内表示番号は「改修標準」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章項目

1 一般共通事項

1 ① 工事保証

1 ② 施工計画の提出

1 ③ 既設建物との取合

1 14 別途工事との関連

1 ⑤ 発生材の処理

1 ⑥ 指示

1 ⑦ 立合い

1 ⑧ 検査

1 ⑨ 承諾

1 ⑩ 火災保険

1 ⑪ 第三者に対する損害保険

1 ⑫ アスベスト含有建材の取扱

1 ⑬ 提出書類等

特記事項

建物竣工引渡後かしの担保期間内において工事不良のため生じた損害は、請負者の負担において、迅速、丁寧に復旧するものとする。

本工事の仮設、施工方法等施工に関する計画書類は、下記による。
※仮設計画書 ※防水改修工事施工計画書
※外壁改修工事施工計画書 ※塗装改修工事施工計画書
※その他監督職員の指示するもの

既設建物と今回工事の取合い部分、その他本工事の範囲外の部分に、汚染、損傷を生じた場合は、原型と同じ仕上げ材で完全に補修するものとする。

別途工事についての工事工程ならびに関連のある工事の内容に関しては、別途工事業者と密接に連絡して調整しなければならない。

本工事に伴う発生材は、産業廃棄物として行政庁の指導を受け、承諾を受けた場所に搬出するものとする。

本工事の施工にあたって、下記に定める項目のうち○印を付したもののについては、工事監理者又は監督職員の指示を受けるものとし、記録書を提出するものとする。
1 別契約の工事関係者との協力
① 発生材の処理方法
② 補正工程表(期間又は工事種別)の作製
③ 提出見本品の種類
④ 設計変更の手続及び見積方法

本工事の施工にあたって、下記に定める項目のうち○印を付したもののについては、工事監理者の立合いを受けるものとする。
① 指示された施工又は試験
② 各法令に基づく諸官庁の検査

本工事の施工にあたって、下記に定める項目のうち○印を付したもののについては、工事監理者の検査を受け、承諾を得るものとする。
① 指示された材料、製品及び機器の検査
② 指示された工程完了時点で中間検査(施工数量調査検査)
③ 指示された工程完了時点で中間検査(外壁下地補修工程完了時)
④ 竣工検査

本工事の施工にあたって、下記に定める項目のうち○印を付したもののについては、工事監理者の承諾を受けるものとする。
① 補正工程表及び変更工程表
② 施工図、現寸図
③ 見本

請負人の負担で必ず加入すること。
保険期間については、工事期限に14日を加えたものとする。
ただし、工期延長が生じた場合は監督職員と協議する。

工事の施工にあたっては、安全管理に努めるとともに、万一に備えて請負業者損害保険等に積極的に加入するよう努めること。

各種材料については、原則としてアスベスト含有材料は使用しない。

本工事の施工にあたり、下記に定める図書等(番号に○印を付したものを)を工事監理者及び監督職員に提出して承諾を受けるものとする。工事監理者又は監督職員は下記に定めるもののほか、必要な図書等の提出と承諾を求めることがある。
審判提出書類 期 限 部 数 備 考
① 工事請負契約書写 契約時 2 部
② 工程表 契約後直ちに 2 部
③ 請負代金内訳書 契約後 1 日以内 2 部
④ 損害保険契約書 契約後 1 日以内 1 部
⑤ 現場代理人・管理技術者主任技術者、専門技術者 契約後 1 日以内 2 部 経歴、資格を記す
⑥ 下請人等通知書 契約後 1 日以内 2 部
⑦ 使用材料機器等承認額 その都度 2 部
⑧ 材料試験成績報告書 試験後 1 日以内 2 部
⑨ 工事記録報告書 監督職員の指示による 2 部 日誌をまとめ、月報として提出
⑩ 打合せ記録書 その都度 2 部 内容
⑪ 変更工事見積書 その都度 1 部
⑫ 出来高承認額 その都度 1 部
⑬ 官公署出納書類 その都度 1 部
⑭ 工事竣工検査書類 工事完了 1 日前 2 部
⑮ 完成図書 ※契約書関係A4版 1 部 (目次付)
・契約書・契約時提出書類・請求書
・着工、完成届、施工計画書・施工報告書
・試験報告書・保証書・機器完成票
・取扱説明書・各種材料搬入伝票
・出荷証明書・納品書
・仕上材料メーカー品番リスト及び書類差込用
ビニール袋5枚程度を末尾に綴じ込むこと。
⑯ 工事竣工引渡備品 竣工時 1 組
⑰ 鍵及び錠類
⑱ 工具及び工具箱
⑲ 予備材料
⑳ その他の資料、材料、器具類

章項目

1 一般共通事項

1 ① 足場その他(2.2.1)

2 ② 既存部分の養生(2.3.1)

3 ③ 仮設間仕切り(2.3.2)

4 ④ 監督員事務所(2.4.1)

5 ⑤ 工事用水

6 ⑥ 工事用電力

7 ⑦ 仮囲い等

8 ⑧ 設計G L

9 ⑨ その他

特記事項

※労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に倣い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。
外部足場 ※ A 種 ○ B 種 ○ C 種 ○ D 種
●くさび緊結式足場(足場繋ぎはコンクリート打放し部分に行う。)
内部足場 ※脚立、足場板等 ○
防護シート等
○防音パネル ○防音シート ●養生シート ○ネット及び養生シート
材料、撤去材等の運搬方法 1 段目ガードフェンスH1800
○ A 種 ※ B 種 ○ C 種 ○ D 種 ○ E 種 (表2.2.2)
●足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2) 手すり据置方式又は(3) 手すり先行専用足場方式を採用すること。

既存部分の養生 ※行う (※ビニールシート ○)
○行わない
既存家具等の養生 ※行う (※ビニールシート ○)
○行わない
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ※行う ●行わない
養生の方法 ※取り外しのうえ清掃 ○
保管場所 ※室内にてカバー掛の上、適切保管 ○
家具の移動 ※行う () ●行わない

○設ける () ○ A 種 ○ B 種 ※ C 種
●設けない

規模 ●10㎡程度 ○20㎡程度 ○35㎡程度 ○65㎡程度 ○100㎡程度
仕上 ○合板張り素地 ○ビニールシート敷き ●パッキンシート敷き
内壁、天井 ●合板又は石膏ボード張り、合成樹脂エポキシ樹脂(外塗り)
屋根 ●塗装溶融亜鉛メッキ鋼板張り ○鉄板張り鋼合ペイント塗リ
休憩室 ●設けない ○設ける(置敷き) ○
備品 ●机 ●いす ●書棚 ●黒板 ○製図板
●時計 ●温度計 ●消火器 ●掃除具 ○加入電話機
●懐中電灯 ●湯沸器 ●冷暖房機器 ○
●保護帽 ●ゴム長靴 ●雨がつば ●衣類カバ (5 人分程度)
※改修標準 (平成22年版) ※建築工事監理指針 (平成22年版)
※建築工事施工チェックシート ○建築工事標準詳細図 (平成22年版)
●工事写真の撮り方(改訂2版) 建築編

構内既存の施設 ※利用できない ●利用できる (●有償 ○無償)
工事に、水道を引込む際の加東市水道局等の申請手続きを、業務に含む。
構内既存の施設 ※利用できない ●利用できる (●有償 ○無償)
工事に、電気を引込む際の関西電等の申請手続きを、業務に含む。

※図示 ○設計G L=現状G L

●足場施工は工事作業面毎に設置すること。
※足場は住人が通行出来るよう合板等で通路を養生すること。
※外部足場には関係者以外立入り禁止看板を設置すると共に柵付金網H1.8mを設置すること。
※屋外階段前には朝顔養生を行うこと。

※材料搬入出時の大型車両進入の際には、交通誘導員を配置すること。

章項目

3 防水改修工事

3 1 アスファルト防水(3.3.2)~(3.3.5)

3 2 改質アスファルトシート防水(3.4.2)~(3.4.4)

3 ③合成高分子系ルーフィングシート防水(3.5.1)~(3.5.4)

3 ④塗膜防水(3.6.1)~(3.6.4)

特記事項

○保護防水
種 別 防水層 施 工 箇 所
○ P 1 B 工法 ○ B-1 ※B-2 敷1.3
○ P 1 B 1 工法 ○ B-1 ※B-2 敷1.4
○ T 1 B 1 工法 ○ B-1 ※B-2 敷1.5
○ P 2 A 1 工法 ○ A-1 ※A-2 敷1.6
○ P 2 A 工法 ○ A-1 ※A-2 敷1.6

○露出防水
種 別 防水層 施 工 箇 所
○ M 4 C 工法 ○ C-1 ※C-2 敷1.7
○ M 3 D 工法 ○ D-1 ※D-2 敷1.8
○ P 0 D 工法

○露出防水断熱工法
種 別 防水層 施 工 箇 所
○ P 0 D 1 工法 ○ D-1 ※D-2 敷1.9
○ M 3 D 1 工法
○ M 4 D 1 工法

○屋内防水工法
種 別 防水層 施 工 箇 所
○ P 1 E 工法 ○ E-1 ※E-2 敷1.10
○ P 2 E 工法

アスファルトの種類 ※3種 ○
アスファルトルーフィング ※1500 ○
断熱材 厚さ(mm) ※25 ○
材質 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bのスチン層付(ただし、特定フロンを含まないものとする。)
絶縁用シート ※ポリエチレンフィルム厚0.15(保護防水工法)
※フラットヤーンクロス (70g/m程度)(保護防水工法)
押え金物 ※アルミニウム製L-30×15×2.0 ○

立上がり押え ※レンガ押え(JIS) ○タタキ押え ○乾式保護材
脱気装置 ○設ける 設置数量 (1箇所/㎡)

伸縮調整目地 ※成形伸縮目地材 ○
成形緩衝材 ※ルーフィング類製造所の指定品 ○

○露出防水密着工法
種 別 防水層 施 工 箇 所
○ M 4 A S 工法 ○ A5-1 ○A5-2 ○A5-3 敷1.1

○露出防水絶縁工法
種 別 防水層 施 工 箇 所
○ M 3 A S 工法 ○ A5-4 ○A5-5 ○A5-6 敷1.2
○ P 0 A S 工法

○屋根露出防水絶縁工法
種 別 防水層 施 工 箇 所
○ M 3 A S 1 工法 ○ A5-1
○ M 4 A S 1 工法 ○ A5-2 敷1.3
○ P 0 A S 1 工法
仕上げ材料 ○タタキ ○タタキ
脱気装置 (絶縁工法の場合) ※設ける 材料 () 設置数量 (1箇所/㎡)

種 別 防水層 施 工 箇 所
○ L 1 S 1 工法 ●S(1)+F2(t+●2.0※1.5) 敷1.1 図示
○ S 0 S 1 工法 ●S(1)+F1(t+※1.2※1.5)
PC部材入隅増強 (※有り○無し)
○ L 0 S 1 工法 ●S(1)+F1(t+※1.2※1.5)
PC部材入隅増強 (※有り○無し)
● M 3 S 工法 平床●S-M2(t+●2.0※1.5)
立上り●S-F2(t+●2.0※1.5)

※詳細は図示による
断熱材 ○ポリウレタンフォーム厚35mm ○ポリエチレンフォーム厚35+金属パネル
絶縁用シート ※発泡ポリエチレンシート ○
仕上げ塗料 ○タタキ ○タタキ
脱気装置(平床用、立上り用)
●設ける 材料 (スチス) 設置数量 (1箇所/ 50㎡)
※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。

種 別 防水層 施 工 箇 所
○ O X 工法 ※I-1 敷1.1
● O X 工法 ※I-2 図示

脱気装置 (X-1)
○ 設ける 材料 () 設置数量 (1箇所/㎡)

記事

加東市役所

〒673-1493 兵庫県加東市社50番地
TEL 0795-42-3301(代表)

所長

管理建築士

総括

担当

作図

工事名

令和4年度 社会資本整備総合交付金事業
市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事

設計図

日付

2022.7

特記仕様書(1)

§=NS

§=

§=

整理番号

図面番号

A-001

※図面表記総尺はA2印刷の場合の縮尺とし A3縮小印刷の場合はNS(ノットール)とする

3

防水改修工事

5 漏水試験

⑥ 保証書

7 施工協議

⑧ シーリング

⑨ とい（雨水）

⑩ アルミニウム製笠木

4

外壁改修工事

① 施工数量調査

② ひび割れ部補修

特記事項

※水張り試験を行う（○屋内○屋外）

※請負業者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。
（保証年限は工事目的物渡しより10年間以上とする。）

工事完了後に監督職員の指示する位置〜取り付ける。
材質 ※真鍮製エッチング仕上 150×100 ○
設置数量 （ ）箇所

シーリング材の種類 ※改修標準表3.7.1による

シーリング改修工法及び施工箇所

改修工法の種別	施工箇所
○シーリング充填工法	
●シーリング再充填工法	打ち漏ぎ目地、サツ廻り、その他箇示による
○拡幅シーリング充填工法	
○ブリッジ工法	

目地寸法
コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ○
※幅20mm以上、深さ10mm以上
ガラス回りの目地 ○
※幅5mm以上、深さ5mm以上
その他の目地 ○
※幅10mm以上、深さ10mm以上

シーリングの試験 ※簡易接着性試験（箇位 打ち継ぎ目地）
○引張接着性試験（箇位）

※外とい（外気に接するとい）

	材	質
改修用ルーフドレン等	※鉄鉄製	●塩ビ製
たてとい	※硬質塩化ビニル管(VP)	●塩ビ製（カラーVP）
とい受け金物	※亜鉛メッキ鋼板	●ステンレス製

○内とい（VP管は使用しない）

	材	質

※掃除口を設ける（開放性のある自転車置き場のとい除く）
○養生敷置を設ける（径 厚さ 長さ）

種 類	幅厚(mm)	表面処理	固定間隔	備 考
○250形	1.5	○A-1種	※1.5m程度	※押出型材 ○曲げ材
○300形	1.8	※B-1種	○	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。
○350形	2.0	○B-2種		
●180形	1.5	●B-1種		

※建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。

4

外壁改修工事

① 施工数量調査

② ひび割れ部補修

特記事項

※行う（○ひび割れ ●欠陥 ●浮き ●露筋）

※施工に先立ち、外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。又、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
コンクリート表面のはがれ、浮き及び露筋欠陥、剥落部を壁面に表示する。
調査報告書の部数 ※2部 ○報告書提出期限 足場設置後 14日 以内
※ひび割れの幅別に長さを算出すること。

○行わない
●樹脂注入法

ひび割れの幅 (mm)	0.2～0.5未満	0.3～0.5未満	0.5～1.0以下
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度
注入量 (cc/mm)			

※自動式エポキシ樹脂注入工法 ○手動式エポキシ樹脂注入工法
○機械式エポキシ樹脂注入工法

●コンクリート打ち放し仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
●シール工法	※バテ状エポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	外壁
※樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ○軟質形エポキシ樹脂	
○Uカットシール材充填工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	

コア抜き取りによるひび割れ部の注入状況の検査
※行わない ○行う

特記事項

●モルタル塗り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○シール工法	※バテ状エポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	
○樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ●軟質形エポキシ樹脂	
○Uカットシール材充填工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○シール工法	※バテエポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	
○樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ○軟質形エポキシ樹脂	
○タイル張除去後 ○Uカットシール材充填工法 ○樹脂注入工法の上り張替工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	
○タイル部分張替工法	○ポリマーセメントモルタル ○エポキシ樹脂	
○目地ひび割れ改修工法	※既製調合目地材	

●コンクリート打ち放し仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
●充填工法	※エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	外壁
○モルタル塗替工法	※改修標準表4.4.1による	

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○タイル部分張替工法	※エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	
○タイル張替工法		

アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒 ○

注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm ○

注入用エポキシ樹脂 ※改修標準4.2.2(a)による ○

●モルタル塗り仕上げ

工 法	箇所 の面積 (㎡)	浮き代 (mm)	呼び (mm)	注入口 (箇所/㎡)	施 工 箇 所
			一般部	一般部	
			指定部	指定部	
●アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25	未満	※16 ○		
○アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25	1.0 以下	※13 ○	※12 ○	
○アンカーピンニング全面	0.25	1.0を 以上 超える	※13 ○	※12 ○	
○注入口付アンカーピン部分	0.25		※9 ○		
分球	樹脂注入工法	未満	※16 ○		
○注入口付アンカーピン全	0.25	1.0	※9 ○	※9 ○	
面球	樹脂注入工法	以上 以下	※16 ○	※16 ○	
○注入口付アンカーピン全	0.25	1.0を 以上 超える	※9 ○	※9 ○	
面球	樹脂注入工法	以上 超える	※16 ○	※16 ○	
○充填工法	0.25				
○モルタル塗替工法					

4

外壁改修工事

① 施工数量調査

② ひび割れ部補修

特記事項

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○シール工法	※バテ状エポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	
○樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ○軟質形エポキシ樹脂	
○Uカットシール材充填工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○シール工法	※バテエポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	
○樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ○軟質形エポキシ樹脂	
○タイル張除去後 ○Uカットシール材充填工法 ○樹脂注入工法の上り張替工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	
○タイル部分張替工法	○ポリマーセメントモルタル ○エポキシ樹脂	
○目地ひび割れ改修工法	※既製調合目地材	

●コンクリート打ち放し仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
●充填工法	※エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	外壁
○モルタル塗替工法	※改修標準表4.4.1による	

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○タイル部分張替工法	※エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	
○タイル張替工法		

アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒 ○

注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm ○

注入用エポキシ樹脂 ※改修標準4.2.2(a)による ○

●モルタル塗り仕上げ

工 法	箇所 の面積 (㎡)	浮き代 (mm)	呼び (mm)	注入口 (箇所/㎡)	施 工 箇 所
			一般部	一般部	
			指定部	指定部	
●アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25	未満	※16 ○		
○アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25	1.0 以下	※13 ○	※12 ○	
○アンカーピンニング全面	0.25	1.0を 以上 超える	※13 ○	※12 ○	
○注入口付アンカーピン部分	0.25		※9 ○		
分球	樹脂注入工法	未満	※16 ○		
○注入口付アンカーピン全	0.25	1.0	※9 ○	※9 ○	
面球	樹脂注入工法	以上 以下	※16 ○	※16 ○	
○注入口付アンカーピン全	0.25	1.0を 以上 超える	※9 ○	※9 ○	
面球	樹脂注入工法	以上 超える	※16 ○	※16 ○	
○充填工法	0.25				
○モルタル塗替工法					

4

外壁改修工事

① 施工数量調査

② ひび割れ部補修

特記事項

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○シール工法	※バテ状エポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	
○樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ○軟質形エポキシ樹脂	
○Uカットシール材充填工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○シール工法	※バテエポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	
○樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ○軟質形エポキシ樹脂	
○タイル張除去後 ○Uカットシール材充填工法 ○樹脂注入工法の上り張替工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	
○タイル部分張替工法	○ポリマーセメントモルタル ○エポキシ樹脂	
○目地ひび割れ改修工法	※既製調合目地材	

●コンクリート打ち放し仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
●充填工法	※エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	外壁
○モルタル塗替工法	※改修標準表4.4.1による	

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○タイル部分張替工法	※エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	
○タイル張替工法		

アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒 ○

注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm ○

注入用エポキシ樹脂 ※改修標準4.2.2(a)による ○

●モルタル塗り仕上げ

工 法	箇所 の面積 (㎡)	浮き代 (mm)	呼び (mm)	注入口 (箇所/㎡)	施 工 箇 所
			一般部	一般部	
			指定部	指定部	
●アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25	未満	※16 ○		
○アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25	1.0 以下	※13 ○	※12 ○	
○アンカーピンニング全面	0.25	1.0を 以上 超える	※13 ○	※12 ○	
○注入口付アンカーピン部分	0.25		※9 ○		
分球	樹脂注入工法	未満	※16 ○		
○注入口付アンカーピン全	0.25	1.0	※9 ○	※9 ○	
面球	樹脂注入工法	以上 以下	※16 ○	※16 ○	
○注入口付アンカーピン全	0.25	1.0を 以上 超える	※9 ○	※9 ○	
面球	樹脂注入工法	以上 超える	※16 ○	※16 ○	
○充填工法	0.25				
○モルタル塗替工法					

4

外壁改修工事

① 施工数量調査

② ひび割れ部補修

特記事項

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○シール工法	※バテ状エポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	
○樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ○軟質形エポキシ樹脂	
○Uカットシール材充填工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○シール工法	※バテエポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	
○樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ○軟質形エポキシ樹脂	
○タイル張除去後 ○Uカットシール材充填工法 ○樹脂注入工法の上り張替工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	
○タイル部分張替工法	○ポリマーセメントモルタル ○エポキシ樹脂	
○目地ひび割れ改修工法	※既製調合目地材	

●コンクリート打ち放し仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
●充填工法	※エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	外壁
○モルタル塗替工法	※改修標準表4.4.1による	

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○タイル部分張替工法	※エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	
○タイル張替工法		

アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒 ○

注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm ○

注入用エポキシ樹脂 ※改修標準4.2.2(a)による ○

●モルタル塗り仕上げ

工 法	箇所 の面積 (㎡)	浮き代 (mm)	呼び (mm)	注入口 (箇所/㎡)	施 工 箇 所
			一般部	一般部	
			指定部	指定部	
●アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25	未満	※16 ○		
○アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25	1.0 以下	※13 ○	※12 ○	
○アンカーピンニング全面	0.25	1.0を 以上 超える	※13 ○	※12 ○	
○注入口付アンカーピン部分	0.25		※9 ○		
分球	樹脂注入工法	未満	※16 ○		
○注入口付アンカーピン全	0.25	1.0	※9 ○	※9 ○	
面球	樹脂注入工法	以上 以下	※16 ○	※16 ○	
○注入口付アンカーピン全	0.25	1.0を 以上 超える	※9 ○	※9 ○	
面球	樹脂注入工法	以上 超える	※16 ○	※16 ○	
○充填工法	0.25				
○モルタル塗替工法					

4

外壁改修工事

① 施工数量調査

② ひび割れ部補修

特記事項

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○シール工法	※バテ状エポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	
○樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ○軟質形エポキシ樹脂	
○Uカットシール材充填工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○シール工法	※バテエポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	
○樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ○軟質形エポキシ樹脂	
○タイル張除去後 ○Uカットシール材充填工法 ○樹脂注入工法の上り張替工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	
○タイル部分張替工法	○ポリマーセメントモルタル ○エポキシ樹脂	
○目地ひび割れ改修工法	※既製調合目地材	

●コンクリート打ち放し仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
●充填工法	※エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	外壁
○モルタル塗替工法	※改修標準表4.4.1による	

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○タイル部分張替工法	※エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	
○タイル張替工法		

アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒 ○

注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm ○

注入用エポキシ樹脂 ※改修標準4.2.2(a)による ○

●モルタル塗り仕上げ

工 法	箇所 の面積 (㎡)	浮き代 (mm)	呼び (mm)	注入口 (箇所/㎡)	施 工 箇 所
			一般部	一般部	
			指定部	指定部	
●アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25	未満	※16 ○		
○アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25	1.0 以下	※13 ○	※12 ○	
○アンカーピンニング全面	0.25	1.0を 以上 超える	※13 ○	※12 ○	
○注入口付アンカーピン部分	0.25		※9 ○		
分球	樹脂注入工法	未満	※16 ○		
○注入口付アンカーピン全	0.25	1.0	※9 ○	※9 ○	
面球	樹脂注入工法	以上 以下	※16 ○	※16 ○	
○注入口付アンカーピン全	0.25	1.0を 以上 超える	※9 ○	※9 ○	
面球	樹脂注入工法	以上 超える	※16 ○	※16 ○	
○充填工法	0.25				
○モルタル塗替工法					

4

外壁改修工事

① 施工数量調査

② ひび割れ部補修

特記事項

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○シール工法	※バテ状エポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	
○樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ○軟質形エポキシ樹脂	
○Uカットシール材充填工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○シール工法	※バテエポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	
○樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ○軟質形エポキシ樹脂	
○タイル張除去後 ○Uカットシール材充填工法 ○樹脂注入工法の上り張替工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	
○タイル部分張替工法	○ポリマーセメントモルタル ○エポキシ樹脂	
○目地ひび割れ改修工法	※既製調合目地材	

●コンクリート打ち放し仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
●充填工法	※エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	外壁
○モルタル塗替工法	※改修標準表4.4.1による	

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○タイル部分張替工法	※エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	
○タイル張替工法		

アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒 ○

注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm ○

注入用エポキシ樹脂 ※改修標準4.2.2(a)による ○

●モルタル塗り仕上げ

工 法	箇所 の面積 (㎡)	浮き代 (mm)	呼び (mm)	注入口 (箇所/㎡)	施 工 箇 所
			一般部	一般部	
			指定部	指定部	
●アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25	未満	※16 ○		
○アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25	1.0 以下	※13 ○	※12 ○	
○アンカーピンニング全面	0.25	1.0を 以上 超える	※13 ○	※12 ○	
○注入口付アンカーピン部分	0.25		※9 ○		
分球	樹脂注入工法	未満	※16 ○		
○注入口付アンカーピン全	0.25	1.0	※9 ○	※9 ○	
面球	樹脂注入工法	以上 以下	※16 ○	※16 ○	
○注入口付アンカーピン全	0.25	1.0を 以上 超える	※9 ○	※9 ○	
面球	樹脂注入工法	以上 超える	※16 ○	※16 ○	
○充填工法	0.25				
○モルタル塗替工法					

4

外壁改修工事

① 施工数量調査

② ひび割れ部補修

特記事項

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○シール工法	※バテ状エポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	
○樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ○軟質形エポキシ樹脂	
○Uカットシール材充填工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○シール工法	※バテエポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂	
○樹脂注入工法	※硬質形エポキシ樹脂 ○軟質形エポキシ樹脂	
○タイル張除去後 ○Uカットシール材充填工法 ○樹脂注入工法の上り張替工法	※可とう性エポキシ樹脂 ○シーリング材(PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂	
○タイル部分張替工法	○ポリマーセメントモルタル ○エポキシ樹脂	
○目地ひび割れ改修工法	※既製調合目地材	

●コンクリート打ち放し仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
●充填工法	※エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	外壁
○モルタル塗替工法	※改修標準表4.4.1による	

○タイル張り仕上げ

工 法	材 料	施 工 箇 所
○タイル部分張替工法	※エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	
○タイル張替工法		

アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒 ○

注入口付アンカーピンの材質

6

塗装改修工事

① 塗装業者

(7.1.3)

② 塗装材料

(7.1.3)

③ 下地調整

(7.2.2) ~
(7.2.7)

④ 錆止め塗料塗り

(7.3.2)
(7.3.3)

⑤ 塗装工程

(7.4.2) ~
(7.15.2)

6 マスチック塗材塗り

(7.17.2)

○日本塗装工業会の会員
●監督職員の承諾する塗装業者

塗料のホルムアルデヒド等の放散量
JISで定める ※F☆☆☆☆ OF☆☆ ○ _____
塗料のトルエン、キシレン、Iskンデン ※含有量の少ない規格品

(表7.2.1)~(表7.2.7)

素地	種別	備考
木部	○RA種 ※RB種 ○RC種	
鉄面	○RA種 ※RB種 ○RC種	
垂れめっき面	○RA種 ※RB種 ○RC種	
モルタル及び プaster面	○RA種 ※RB種 ○RC種	ひび割れ部の補修 ●適用する ○適用しない
コンクリート及び ALCパネル面	○RA種 ※RB種 ○RC種	ひび割れ部の補修 ○適用する ○適用しない
コンクリート及び 押出成形セメント面	○RA種 ※RB種 ○RC種	ひび割れ部の補修 ●適用する ○適用しない
石こうボード及び その他石膏面	○RA種 ※RB種 ○RC種	

錆止め塗料の種類 (表7.3.1)~(表7.3.4)

塗面	種別	規格名称	屋外	屋内	塗料種類	塗装工程種別
鉄鋼	A種	鉛丹さび止め			素地ごしらえ	鉄鋼面
		亜酸化鉛さび止め			C種の場合	見掛けり部分
		塩基性クロム酸鉛さび止め			※1種・2種	※A種
		シアナミド鉛さび止め			○1種	○B種
		鉛・亜硫酸鉛さび止め	●		—	見隠れ部分
面	B種	一般用さび止め			1種	○A種 ※B種
	C種	水系さび止め（注）				
垂直面	A種	鉛丹防腐さび止め			—	鋼製建具
	B種	変成エポキシ樹脂プライマー				※A種 ○B種
	C種	水系さび止め（注）			1種	その他 ※C種

（注）水系さび止めは屋内水系塗料塗りに適用

工程の種類 (表7.4.1)~(表7.15.1)

記号	名 称	種 別	備 考
SOP	合成樹脂顔合ベイント塗り	○A種 ※B種 ○C種	
CL	クイヤラッカー塗り	○A種 ※B種	
FE	フタル酸樹脂エナメル塗り	○A種 ※B種 ○C種	
NAD	アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り	○A種 ※B種	
D P	耐候性塗料塗り	○A種 ※B種 ○C種	※2級（シリコン）
EP-G	つや有合成樹脂顔合ベイント塗り	○A種 ※B種 ○C種	
E P	合成樹脂顔合ベイント塗り	○A種 ※B種 ○C種	
EP-T	合成樹脂顔合ベイント模様塗料塗り	○A種 ※B種	
		OC-1種 ※OC-2種 OC-3種	
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	○A種 ※B種	
OS	オイルステイン塗り		
W	木材保護塗料塗り	○A種 ※B種	

(表7.17.1)

	凸面処理仕上	仕 上 塗 り の 種 別
○ A種	○行う ※行わない	○アクリル樹脂エナメル
○ B種	—	※つや有合成樹脂エマルジョンペイント
※ C種	○行う	○

保証年限 ※7年（鉄面を除く）、3年（鉄面） ○ 年
※請負業者と塗装施工業者又は事業協同組合の連名による保証書を提出すること。

●その他特記事項

1 図示寸法は近似値とし、工事着工前に工事対象部の現状（寸法・形状等）の調査を行い、監督職員の承諾を受けてから施工する事。

2 納まり等不明な点については、監督職員と協議し施工する事。

3 工事範囲内の居住者備品等の移設は工事範囲外とする。

工事範囲外及び居住者の財産については、汚染、損傷のないよう注意する事。

汚染、損傷した場合はその復旧方法を監督職員と協議の上請負者の費用、責任にて対応する事（処理後報告書提出の事）

4 工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他への届け出手続きは請負者の費用、責任において遅滞なく行う事。

5 工事期間中、現場代理人は常に連絡のとれる体制をとり、工事に支障無きようにする事。

6 施工時間は居住者と十分調整の上承諾を得て施工の事。

7 施工者は名刺、印章にて身分を明確にし作業にあたる事。

8 本工事は既入居住宅地内での工事となる為、入居者及び第三者の安全確保を第一に考慮し工事施工にあたる事。

本工事にあたり居住者側にて設置されたものは仮撤去するものとする。

再取付については、居住者側の確認を行い退去時に多大な補修の必要無きよう配慮の上取り付けを行う事。

10 工事車両の駐車スペースは、建築資材搬入時以外、別図に示す箇所に限る。

11 躯体の欠損、脆弱部、ひび割れ部及び壁体の浮き補修は、最終数量確認の上、請負金額の増減を行う。

ただし、各項目の数量において、軽微な増減については、工事管理者又は監督職員と協議の上、設計変更を決定するものとする。

12 上記による他不明な点は、監督職員の指示により対処する事。

石綿含有吹付け材除去工事に関する仕様

特記なき限り「公共建築改修工事標準仕様書」9・1・1及9・1・2による。

1. 作業レベル

・レベル 1：著しく発じん量の多い作業であり、作業場所の隔離や、高濃度の粉じん量に対応した防じんマスク、防護衣を適切に使用するなど、厳重なばく露防止対策が要求される。

・レベル 2：比重が小さく、発じんしやすい製品の除去作業であり、レベル1に準じて高いレベルのばく露防止対策が要求される。

・レベル 3：発じん性の比較的低い作業であるが、破碎、切断等の作業においては発じんを伴うこととなるので、湿式作業を原則とすると共に、発じんレベルに応じた防じんマスクを使用する必要。がある

2. 建材の種類

・ 石綿含有吹き付け材
・ 石綿含有保温材、耐火被覆材、断熱材
・ その他の石綿含有建材（成形板等）

3. 事前調査

上記建材以外の石綿含有の恐れのあるものについては
工事着工に先立ち事前に含有調査を行い監督職員に調査書を提出すること。

4. 除去工事

作業計画書、作業手順書の作成を行い監督職員に提出すること。
除去工事については関係法令、条例に基づき適切に除去及び処分をすること。
散水により湿润化すること。また作業中は関係者以外立入り禁止表を行うこと
工事着手前、作業中、工事終了後に各1回石綿粉塵空气中濃度を測定し、監督職員に報告書を提出すること。

1．摘要される法令等
・ 大気汚染防止法
・ 兵庫県「環境の保全と創造に関する条例」

2．その他
工事に際して、建設業労働災害防止協会編集・発行「建築物の解体等工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル」を参照のこと。

6. 試験方法

「建材製品中のアスベスト含有率測定方法（JISA1481-1.3）」（以下JIS法という。）に基づく方法により実施する。ただし、JIS法の「1. 検査範囲」にかかわらず、6種（カサタイル、アモライト、クロソライト、トリモライト、アケノライト、アノキライト）を対象とする。
定性分析及び定量分析はJIS法に基づき実施するものとする。

7. 調査箇所

本工事の施工着手前に定量・定性のアスベスト調査を計3棟体行うこと。
・1号棟外壁リシン吹付
・1号棟外壁リシン吹付下地
・1号棟屋根アスファルトシングル葺き

8. その他

アスベストが含有し処置費が発生する場合は、工事費の増減の対象とする。

参考品番

合成高分子系防水シート防水t=1.5 アーキヤマ株式会社「リベットルーフSGM」 同等

改修用塩ビ製ドレン アーキヤマ株式会社「AYドレン 横型」 同等

入隅用塩ビ被覆銅板 アーキヤマ株式会社「FL 銅板」 同等

ステンレス脱気筒 アーキヤマ株式会社「AYSステンレス脱気筒」 同等

押え金物 アーキヤマ株式会社「YK押え金物SL-1」 同等

アルミ水切り アーキヤマ株式会社「バラトップ水切りM-4」 同等

アルミ笠木 アーキヤマ株式会社「バラトップ笠木BB」 同等

隠蔽タイプ打放しファンクション エスケー化研株式会社「セラミック-FR工法」 同等

日本ペイント株式会社「グラウディー工法」 同等

菊水化学工業「キクスイ SA-FG工法」 同等

屋根用シリコン樹脂塗料 エスケー化研株式会社「ヤネフレッシュSi」 同等

軒天専用反応硬化形仕上塗材 エスケー化研株式会社「ノキフレッシュ」 同等

水性屋根用シリコン樹脂塗料 エスケー化研株式会社「水性屋根用シリコン樹脂塗材」 同等

防滑性ビニル床シート ロンシール工業株式会社「ロスマックME ジャスパバー」 同等

所長

管理建築士

総括

担当

作図

工事名

令和4年度 社会資本整備総合交付金事業
市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事

設計図

整理番号

図面番号

日付

2022.7

特記仕様書(3)

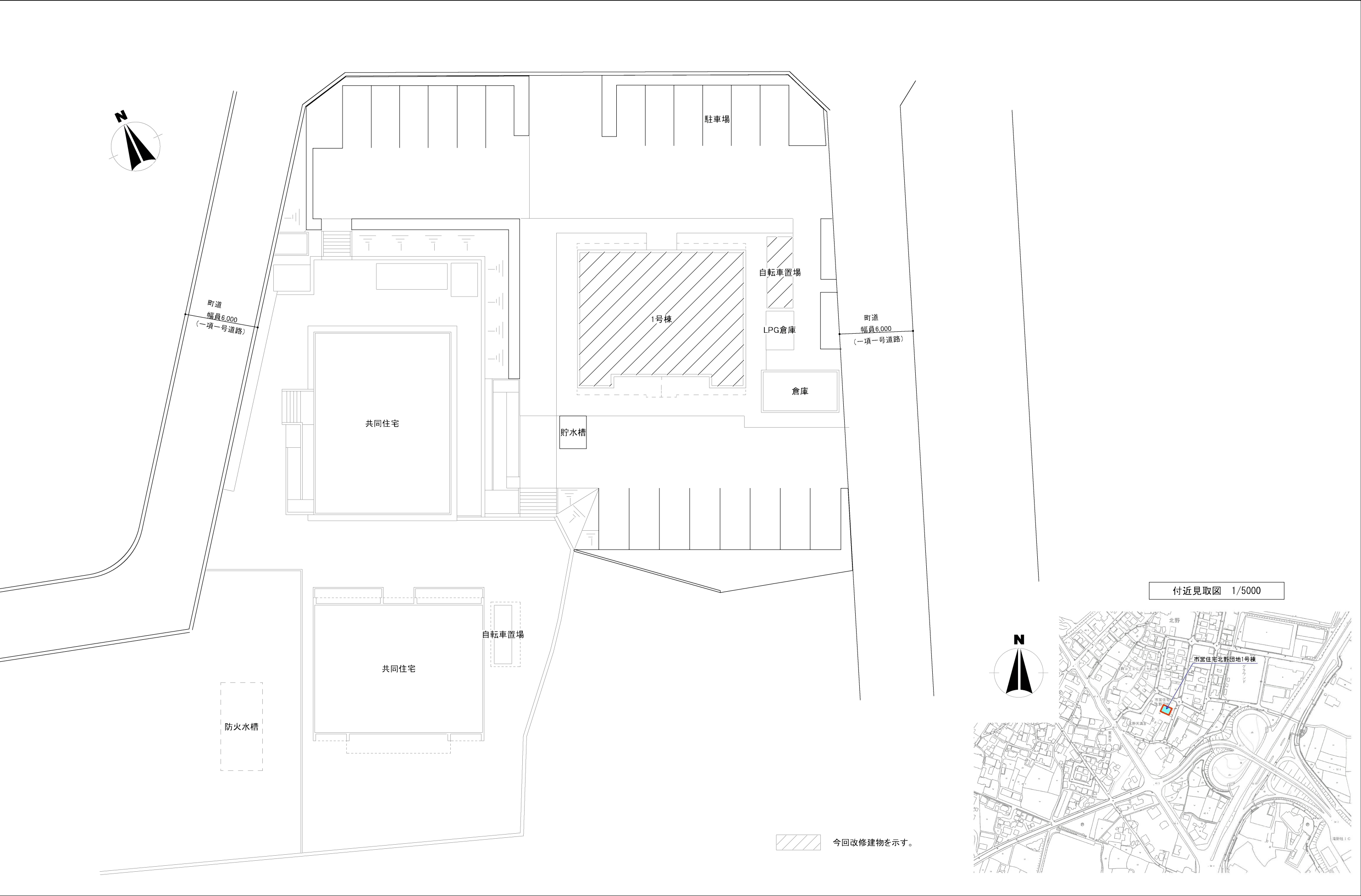
〓NS

〓

〓

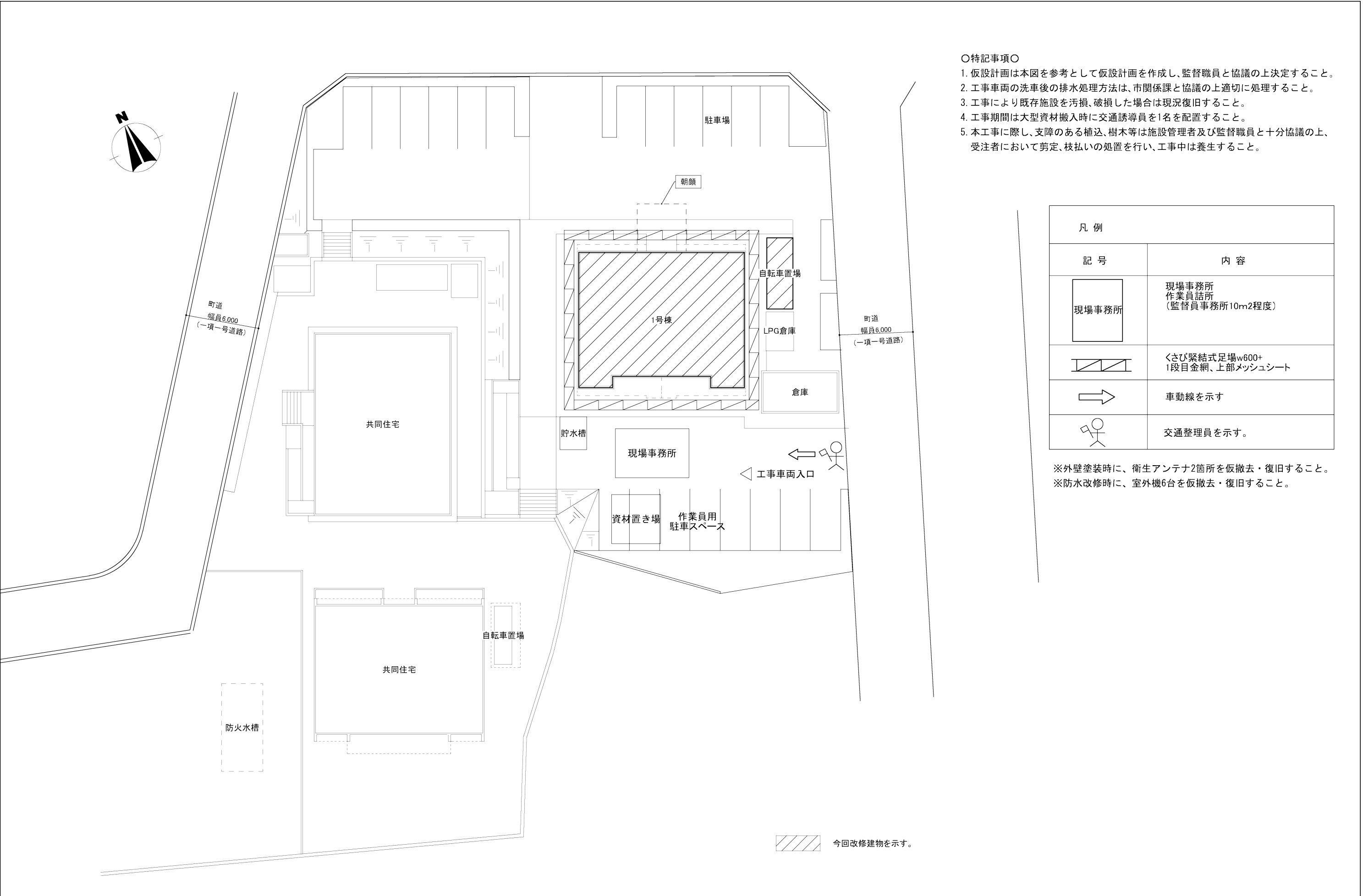
A-003

※図面表記縮尺はA2印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合はNS(ノンスケール)とする



記事	加東市役所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 TEL 0795-42-3301(代表)						所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事	設計図	整理番号	図面番号
												日付	付近見取図・配置図	§=1/200		
												2022.7		§=		
														§=		A-004

※図面表記縮尺はA2印刷の場合の縮尺とし A3縮小印刷の場合はNS(ノンスケール)とする



- 特記事項○
- 仮設計画は本図を参考として仮設計画を作成し、監督職員と協議の上決定すること。
 - 工事車両の洗車後の排水処理方法は、市関係課と協議の上適切に処理すること。
 - 工事により既存施設を汚損、破損した場合は現況復旧すること。
 - 工事期間は大規模資材搬入時に交通誘導員を1名を配置すること。
 - 本工事に際し、支障のある植込、樹木等は施設管理者及び監督職員と十分協議の上、受注者において剪定、枝払いの処置を行い、工事中は養生すること。

凡 例	
記 号	内 容
現場事務所	現場事務所 作業員詰所 (監督員事務所10m2程度)
	くさび緊結式足場w600+ 1段目金網、上部メッシュシート
	車動線を示す
	交通整理員を示す。

※外壁塗装時に、衛生アンテナ2箇所を仮撤去・復旧すること。
※防水改修時に、室外機6台を仮撤去・復旧すること。

記 事	加 東 市 役 所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 TEL 0795-42-3301(代表)					所長	管理建築士	総括	担当	作図	工 事 名	令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事		設計図	整理番号	図面番号
											日 付	仮設計画図	S=1/200	S=		
											2022.7		S=	S=		
																A-005

1号棟:外部仕上表			※特記なき改修部分は、高圧水洗工法を行うこと。		
屋根	現況	アスファルトシングル葺き撤去(防水シート下地既存のまま) ※アスベスト含有	階段・スロープ・廊下	現況	防水モルタルコテ押え（階段、平場、排水溝共） 段鼻タイル 撤去
	改修後	アスファルトシングル葺き新設		改修後	階段・平場:素地ごしらえの上、防滑性ビニル床シート貼り(段鼻タイル撤去跡モルタル補修) 排水溝 :素地ごしらえの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)
屋上	現況	アスファルト防水(断熱材t=25共)撤去	ベランダ・室外機置場	現況	防水モルタルコテ押さえ
	改修後	ケレン・清掃の上、合成高分子系ルーフィングシート防水t=1.5 平場: SI-M2/機械的固定方法 t=1.5(断熱材t=25) 立上り: S-F2/接着工法 t=1.5 押さえ金物、シーリング共(MS-2)		改修後	素地ごしらえの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)
外壁 (打放し部)	現況	化粧コンクリート打放しの上、浸透性防水材塗装	庇 (上面)	現況	防水モルタルコテ押え
	改修後	素地ごしらえの上、隠蔽タイプ打放しファンデーション塗装		改修後	素地ごしらえの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)
外壁 (リシン部)	現況	コンクリート打放しの上、リシン吹付	手摺	現況	一般部:アルミ製、階段手摺:ステンレス製
	改修後	下地調整(RB種)の上、防水形複層塗材E塗装		改修後	一般部:清掃（※アルミ支柱:ドリル穴あけ30φの上、無収縮モルタル充填:H60程度） 階段手摺:清掃
軒裏 (打放し部)	現況	化粧コンクリート打放しの上、浸透性防水材塗装	鉄部	現況	設備盤、電気盤、設備配管:SOP塗装 ベランダ物干し金物:アルミ製
	改修後	素地ごしらえの上、隠蔽タイプ打放しファンデーション塗装		改修後	設備盤、電気盤、設備配管:下地調整(RB種)の上、DP塗装（設備盤:壁面3周シーリング打ち新設） ベランダ物干し金物:清掃
軒裏・天井 (リシン部)	現況	コンクリート打放しの上、リシン吹付	笠木	現況	アルミ製 W=180 撤去
	改修後	下地調整(RB種)の上、軒天専用反応硬化形仕上塗材塗装		改修後	アルミ製 W=180 新設
巾木 (リシン部)	現況	コンクリート打放しの上、リシン吹付	避難用間仕切り	現況	アルミ製枠 W800×H1,800 石綿ケイカル板VP塗装（水洗工法）
	改修後	下地調整(RB種)の上、防水形複層塗材E塗装		改修後	ケレン・清掃の上、DP塗装（両面避難用ステッカー貼）
軒樋	現況	塩ビ製W=120 撤去	建具	現況	SD-1:焼付塗装 SD-2:OP塗装
	改修後	-		改修後	SD-1:高圧水洗工法 SD-2:下地調整(RB種)の上、DP塗装
縦樋・排水管	現況	縦樋 :VP管 50φ、60φ、75φ、100φ SOP塗装 撤去 排水管:塩ビ製 100φ SOP塗装	屋上ドレン	現況	鋳鉄製横引きドレン 撤去
	改修後	縦樋 :カラーVP管 50φ、60φ、75φ、100φ 新設 排水管:ケレン・清掃の上、DP塗装		改修後	改修用塩ビ製横引きドレン 新設

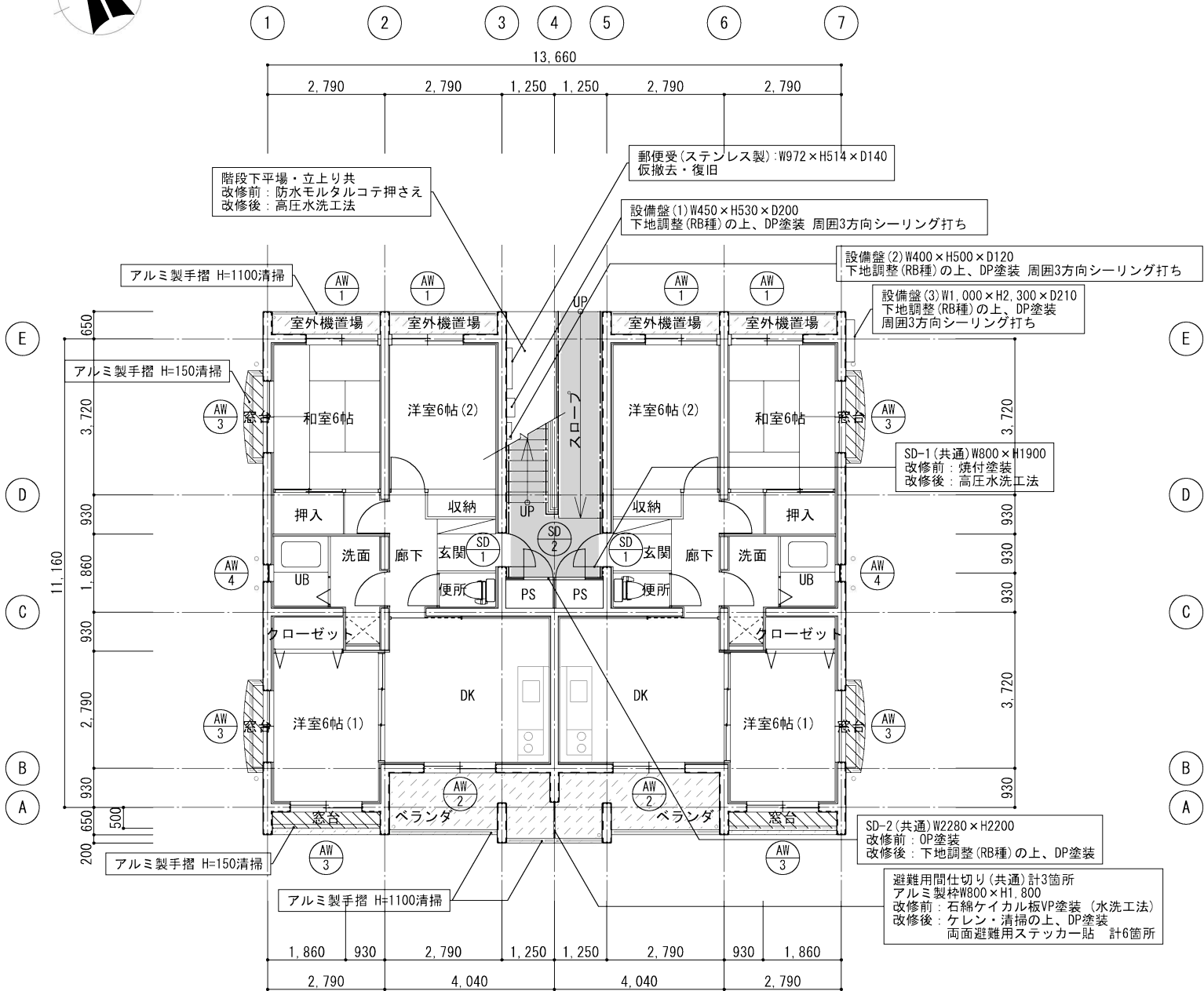
付属棟(倉庫、LPG倉庫): 外部仕上表			※特記なき改修部分は、高圧水洗工法を行うこと。		
屋根	現況	大波スレート葺き（水洗工法）	軒樋	現況	塩ビ製 W=120 SOP塗装
	改修後	下地調整(RB種)の上、屋根用シリコン樹脂塗料塗装		改修後	ケレン・清掃の上、DP塗装
外壁 (打放し部)	現況	化粧コンクリート打放しの上、浸透性防水剤塗装	縦樋	現況	VP管 60φ SOP塗装 撤去
	改修後	素地ごしらえの上、隠蔽タイプ打放しファンデーション塗装		改修後	カラーVP管 60φ 新設
外壁 (リシン部)	現況	CB t=150 化粧積の上、撥水リシン吹付	鉄部	現況	建具SD-1:SOP塗装 水切りカラーGL鋼板 SOP塗装
	改修後	下地調整(RB種)の上、防水形複層塗材E塗装		改修後	下地調整(RB種)の上、DP塗装
巾木 (打放し部)	現況	コンクリート打放し			
	改修後	素地ごしらえの上、隠蔽タイプ打放しファンデーション塗装			

付属棟(自転車置場):外部仕上表						
屋根	現況	アルミパネル形材 高圧水洗工法	鉄部	現況	アルミ製支柱:91.5φ 高圧水洗工法	
	改修後	-		改修後	-	
腰壁	現況	2方向リブ付きCB t=120 高圧水洗工法	床	現況	土間コンクリート金ゴテ押え 高圧水洗工法	
	改修後	-		改修後	-	

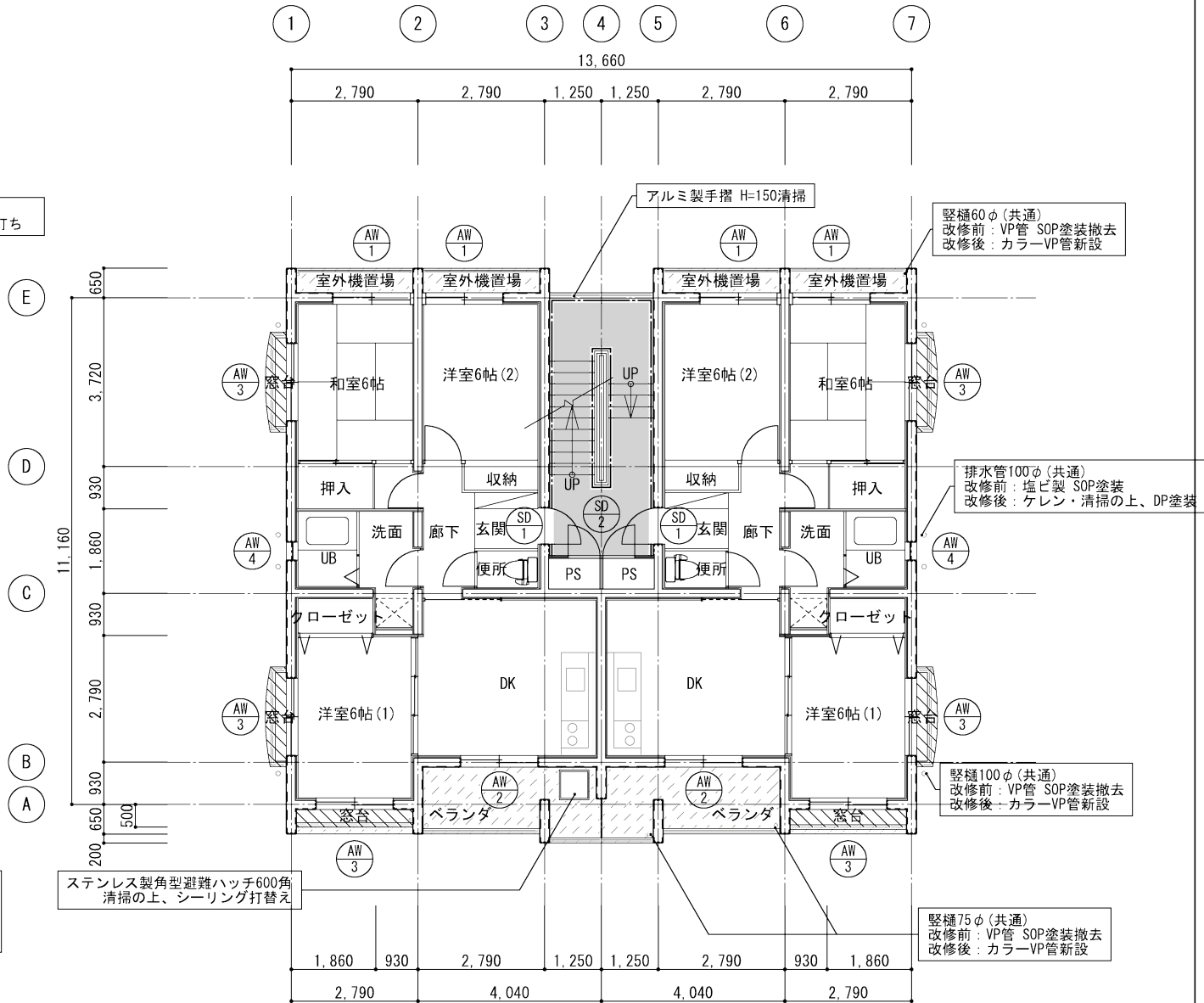


凡例（改修前→改修後）		
	階段床既存排水溝：防水モルタルコテ押え	→ 素地ごしらえの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)
	ベランダ・室外機置場床、庇：防水モルタルコテ押え	→ 素地ごしらえの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)
	窓台：防水モルタルコテ押え	→ 素地ごしらえの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)
	階段・スロープ・廊下：防水モルタルコテ押え	→ 素地ごしらえの上、防滑性ビニル床シート貼り

※特記なき改修部分は、高圧水洗工法を行うこと。
※アルミ製手摺、ステンレス製手摺は清掃を行うこと。
※階段防滑性ビニル床シート施工時に住民の通行路を確保し施工すること。



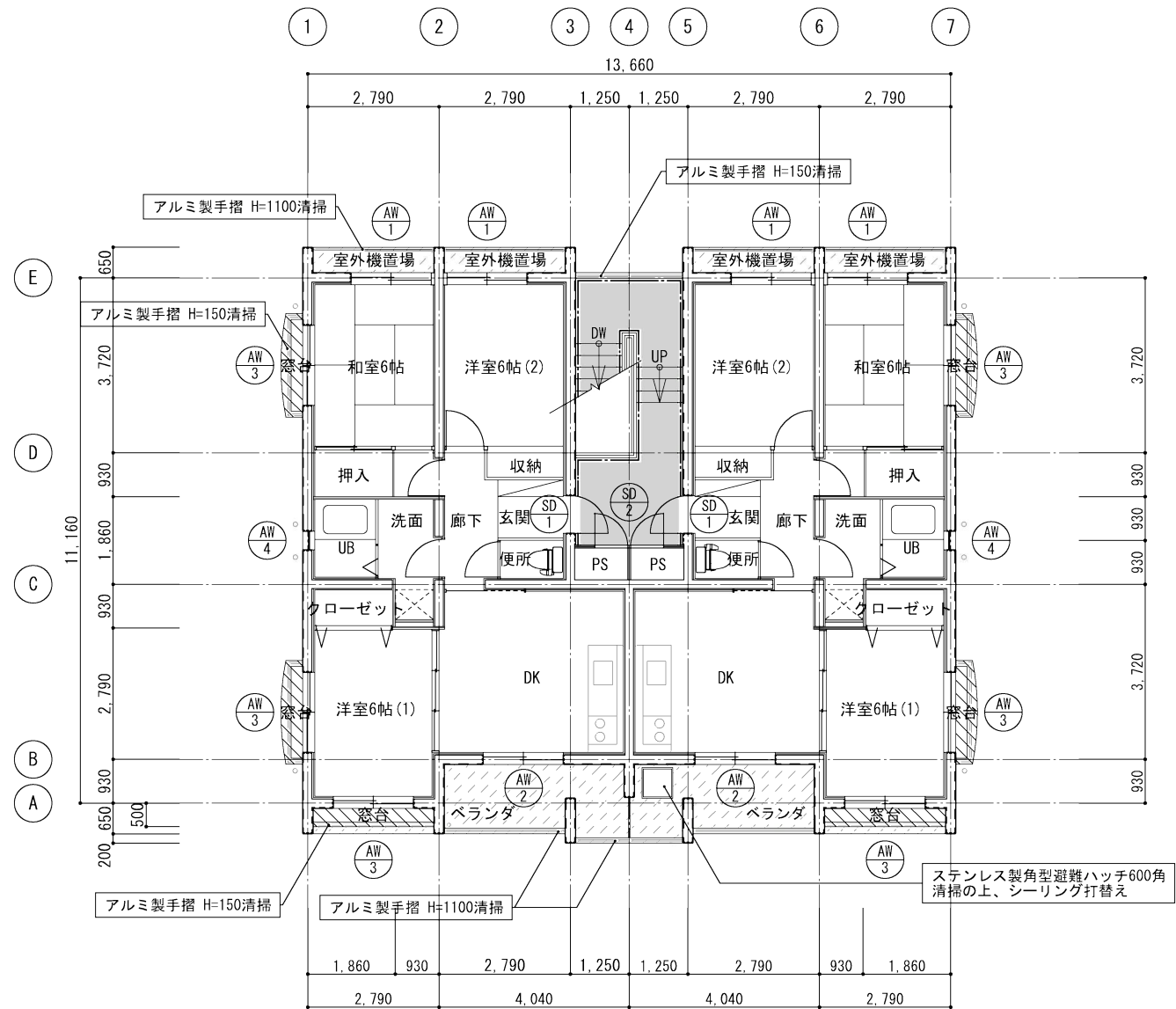
1F平面図



2F平面図

記 事	加 東 市 役 所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 T E L 0 7 9 5 - 4 2 - 3 3 0 1 (代表)			所 長	管理建築士	総括	担当	作図	工 事 名	令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事		設計図	整理番号	図面番号
														A-007
									日 付	1号棟 1階・2階平面図 S=1-100		S=		
									2022. 7		S=	S=		

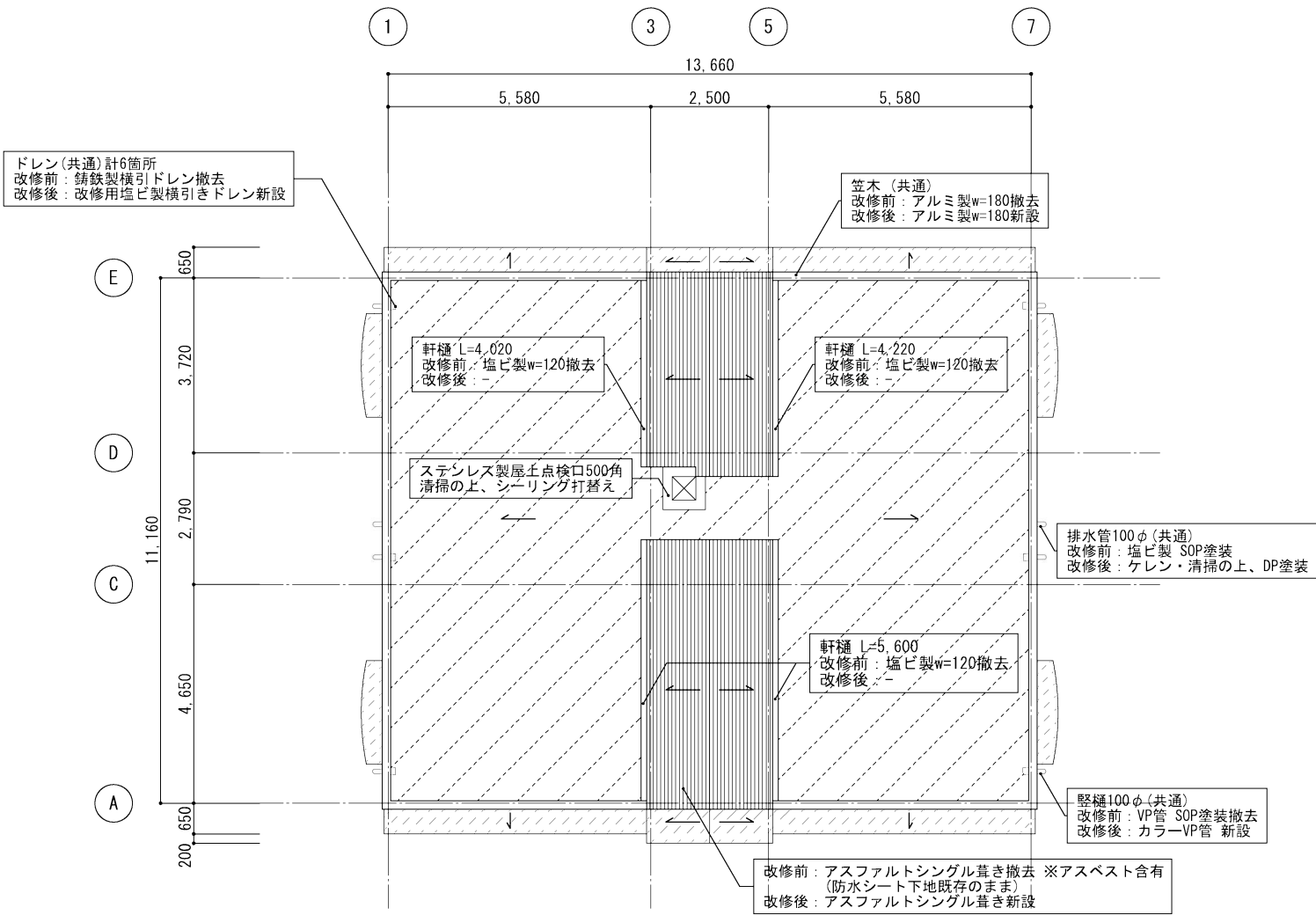
※図面表記縮尺はA2印刷の場合の縮尺とし A3縮小印刷の場合はNS(1/2縮小)とする



3F 平面図

凡例（改修前→改修後）		
	階段床既存排水溝：防水モルタルコテ押え	→ 素地ごしらえの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)
	ベランダ・室外機置場床、庇：防水モルタルコテ押え	→ 素地ごしらえの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)
	窓台：防水モルタルコテ押え	→ 素地ごしらえの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)
	階段・スロープ・廊下：防水モルタルコテ押え	→ 素地ごしらえの上、防滑性ビニル床シート貼り
	屋上：アスファルト防水(断熱材t=25共)撤去	→ ケレン清掃の上、合成高分子系ルーフングシート防水t=1.5 平場：SI-M2/機械的固定方法 t=1.5(断熱材t=25) 立上り：S-F2/接着工法 t=1.5 押さえ金物、シーリング共(MS-2)

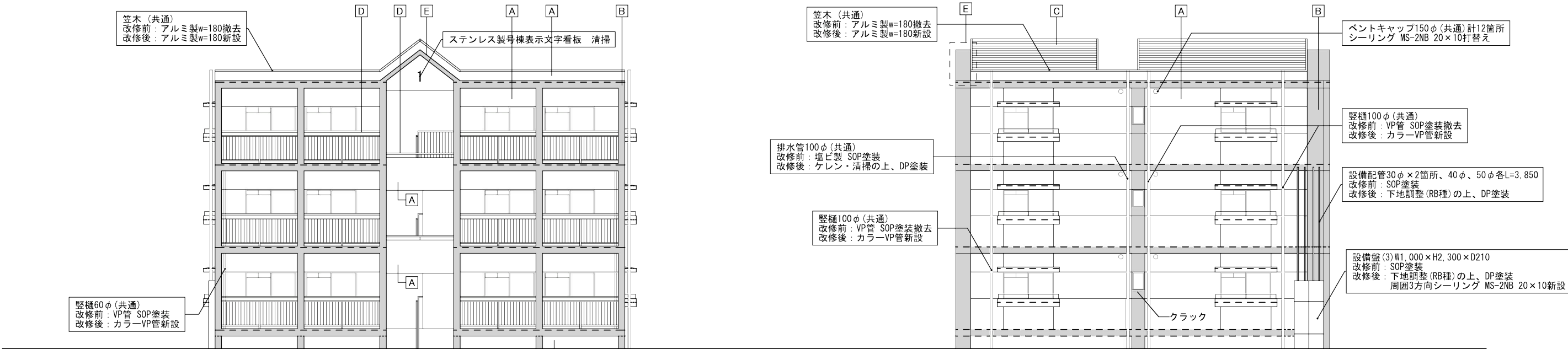
※特記なき改修部分は、高圧水洗工法を行うこと。
※アルミ製手摺、ステンレス製手摺は清掃を行うこと。
※階段防滑性ビニル床シート施工時に住民の通行路を確保し施工すること。



RF 平面図

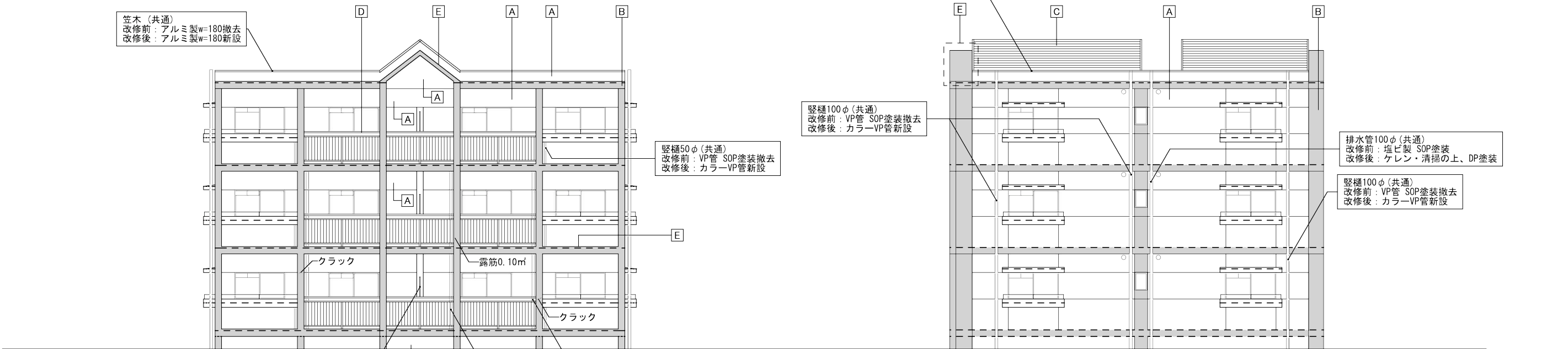
記 事	加 東 市 役 所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 T E L 0 7 9 5 - 4 2 - 3 3 0 1 (代表)						工事名	令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事	設計図	整理番号	図面番号 A-008
		所長	管理建築士	総括	担当	作図					

※図面表記総尺はA2印刷の場合の縮尺とし A3縮小印刷の場合はNS(ノンスケール)とする



北 立面図

西 立面図



南 立面図

東 立面図

修繕標準数量(下地改修)

※ひび割れ修繕、浮き修繕、欠損修繕は数量表による。
なお、修繕数量の増減は、監督職員立会確認の上、別途設計変更処理を行う。
外部 修繕参考数量表(下地改修)

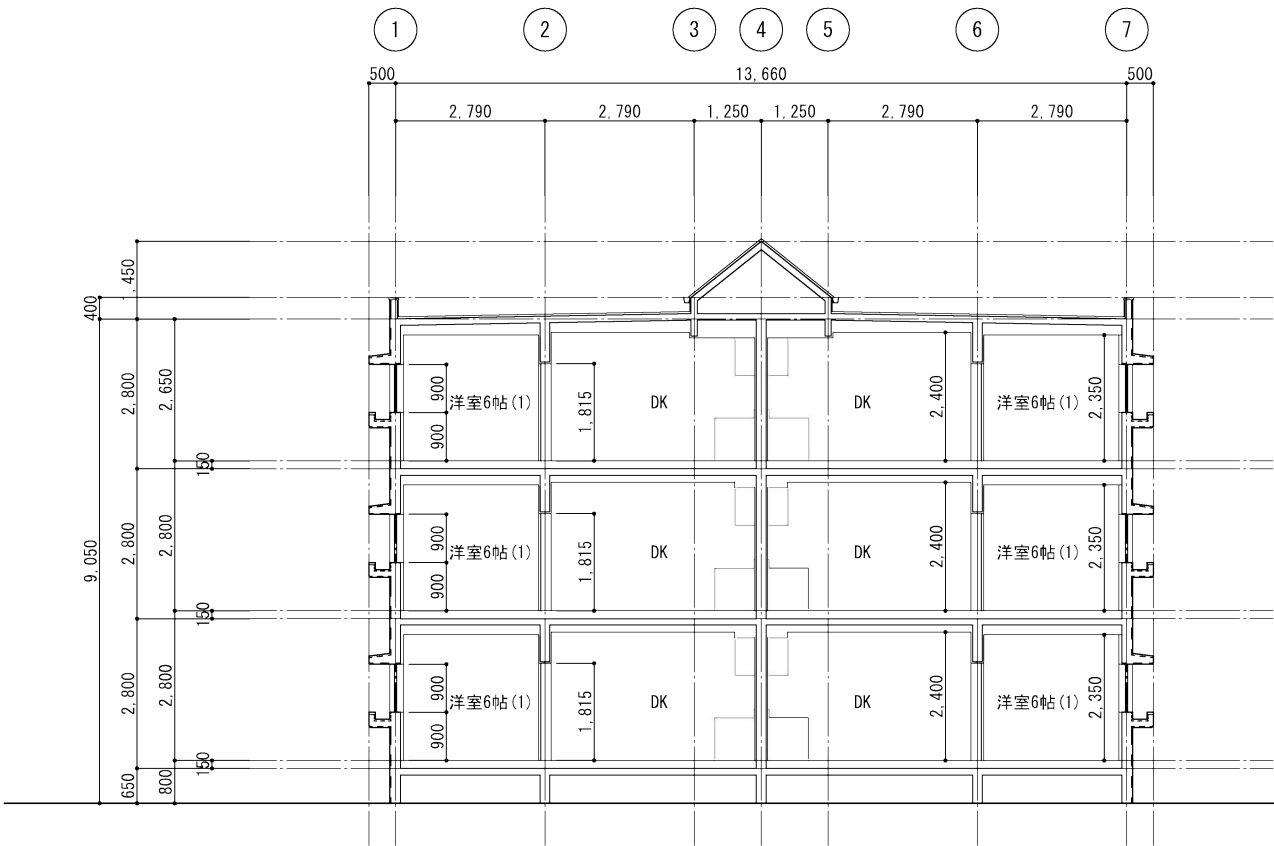
種 別		ひび割れ修繕		欠損露筋修繕	浮き修繕	
		エポキシ 樹脂注入 0.2~1mm以下	Uカット 1mm以上	樹脂モルタル	エポキシ樹脂注入(30g/穴)	
					一般部	狭幅部
単 位		m	m	m ²	m ²	m
1号棟	南面	0.60	0.50	0.30	0.10	0.50
	西面	1.20	0.50	0.10	0.10	0.50
	東面	0.50	0.50	0.10	0.10	0.50
	北面	0.50	0.50	0.10	0.10	0.50
	階段内部	2.00	0.50	0.10	0.10	0.50
	バルコニー	0.50	0.50	0.10	8.50	61.50
合計		5.30	3.00	0.80	9.00	64.00

建具廻りシーリング打替え箇所						
サッシ種類	建具符号	寸法		数量	仕様・寸法	水切り下端 シーリング MS-2 10×10
		W	H		建具廻りシーリング	
アルミ	AW-1	1,700	1,800	12	4周 MS-2 10×10	○
	AW-2	1,700	1,800	6	4周 MS-2 10×10	○
	AW-3	1,700	900	18	4周 MS-2 10×10	○
	AW-4	400	600	6	4周 MS-2 10×10	○
スチール	SD-1	800	1,900	6	3周 MS-2 10×10	-
	SD-2	2,280	2,200	3	3周 MS-2 10×10	-

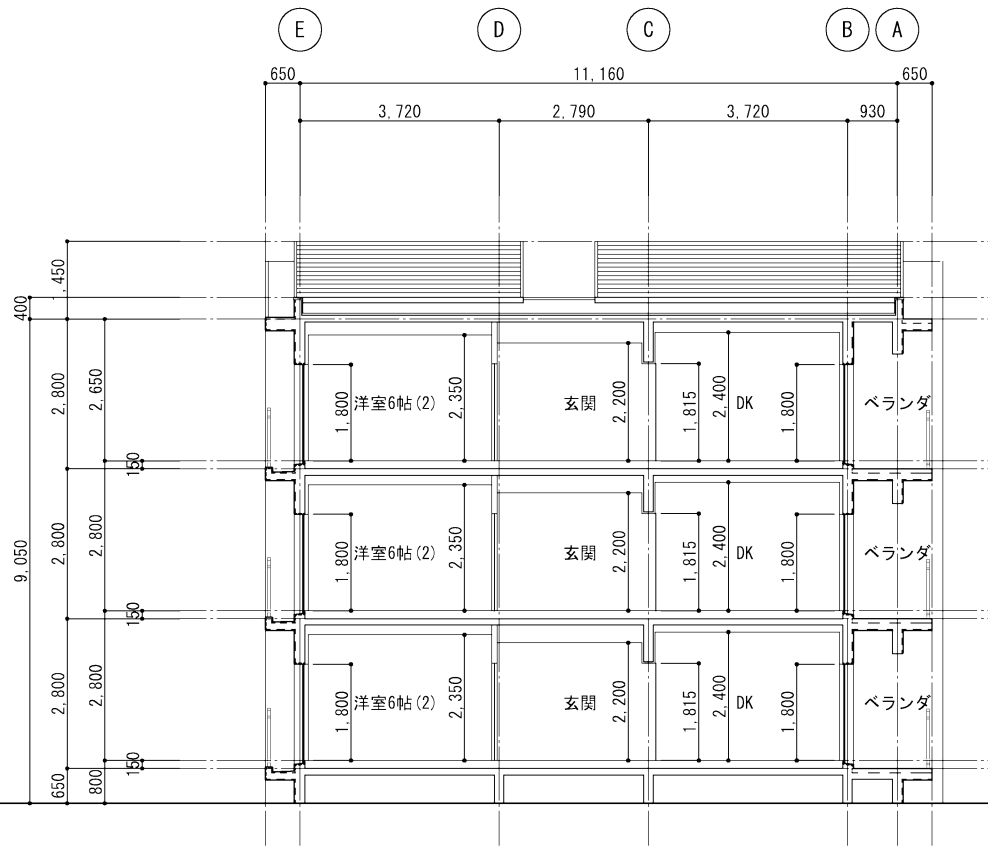
※アルミ建具、鋼製建具廻りは、すべてシーリング打替えとする。

凡例 (改修前→改修後)	
[A]	コンクリート打放しの上、リシン吹付 → 下地調整(RB種)の上、防水形複層塗材E塗装
[B]	化粧コンクリート打放しの上、浸透性防水剤塗装 → 素地ごしらえの上、隠蔽タイプ打放しファンデーション塗装
[C]	アスファルトシングル葺き撤去(防水シート下地既存のまま) → アスファルトシングル葺き新設
[D]	アルミ製手摺 → 清掃
[E]	防水モルタルコテ押え → 素地ごしらえの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)
※ --- は、打継ぎシーリング MS-2NB 20×10を示す。(打継ぎシーリングは、すべてシーリング打替えとする。)	
※アルミ製手摺支柱共通:ドリル穴あけφ30の上、無収縮モルタル充填:H60程度(計65箇所)	
※ベランダ物干し金物(アルミ製)共通:清掃	
※特記なき改修部分は、高圧水洗工法を行うこと。	

記 事	加 東 市 役 所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 T E L 0 7 9 5 - 4 2 - 3 3 0 1 (代表)						所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名 令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事	設計図	整理番号	図面番号 A-009
										</					



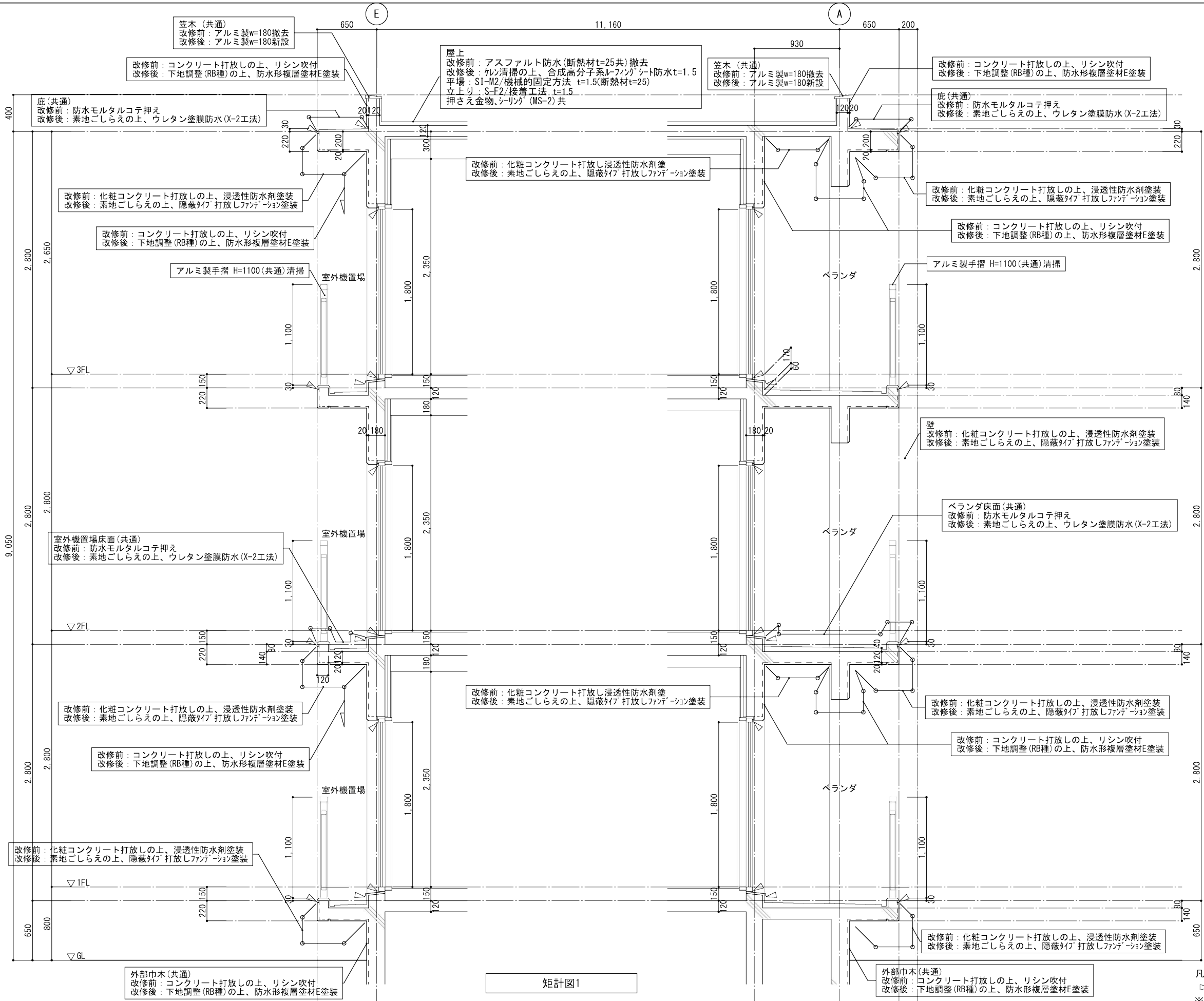
X方向断面図



Y方向断面図

記 事	加 東 市 役 所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 TEL 0795-42-3301(代表)						所長	管理建築士	総括	担当	作図	工 事 名	令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事		設計図	整理番号	図面番号
												日 付	1号棟 断面図	§=1/100	§=		A-010
												2022.7		§=	§=		

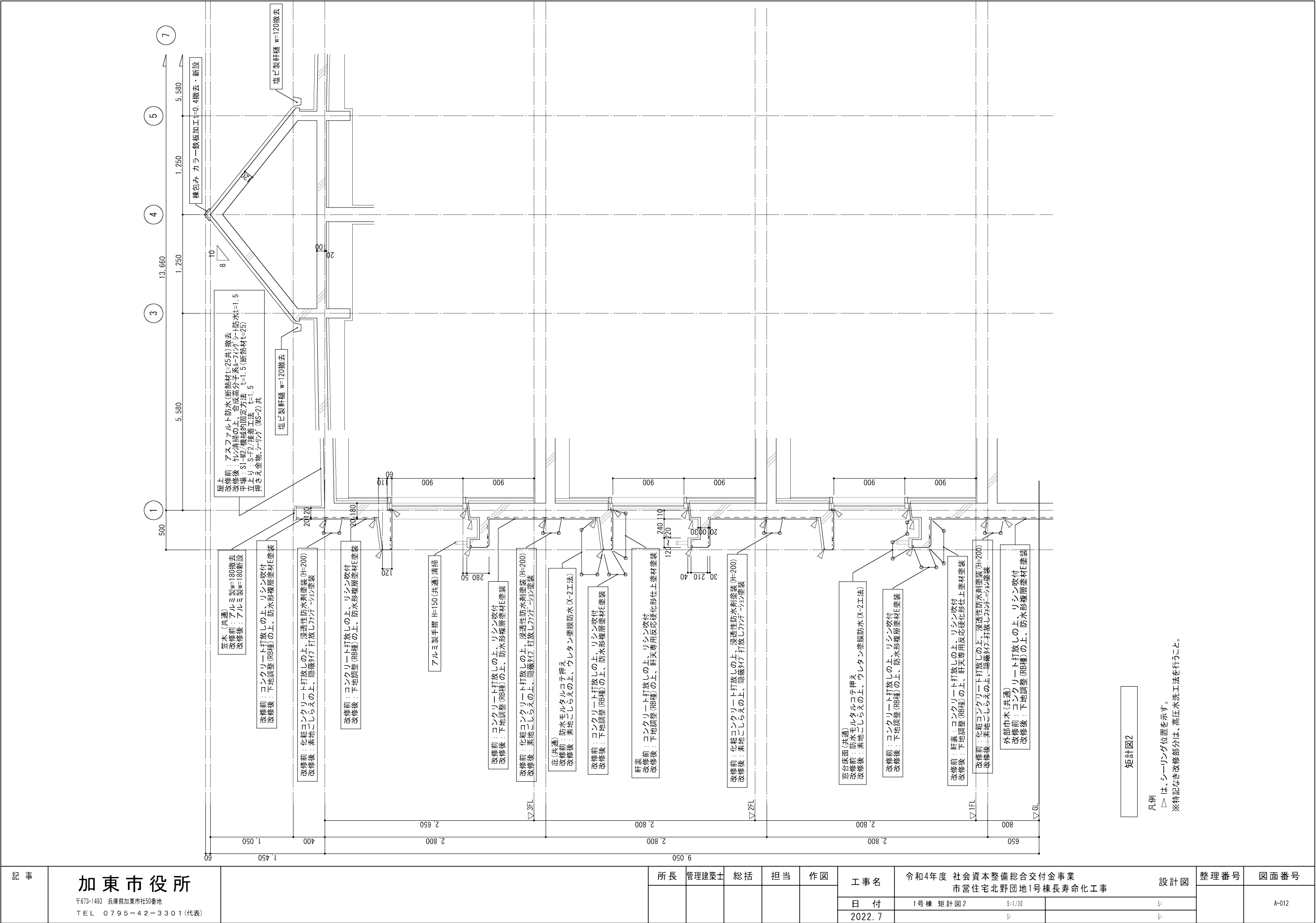
※図面表記総尺はA2印刷の場合の縮尺とし A3縮小印刷の場合はNS(ノンスケール)とする

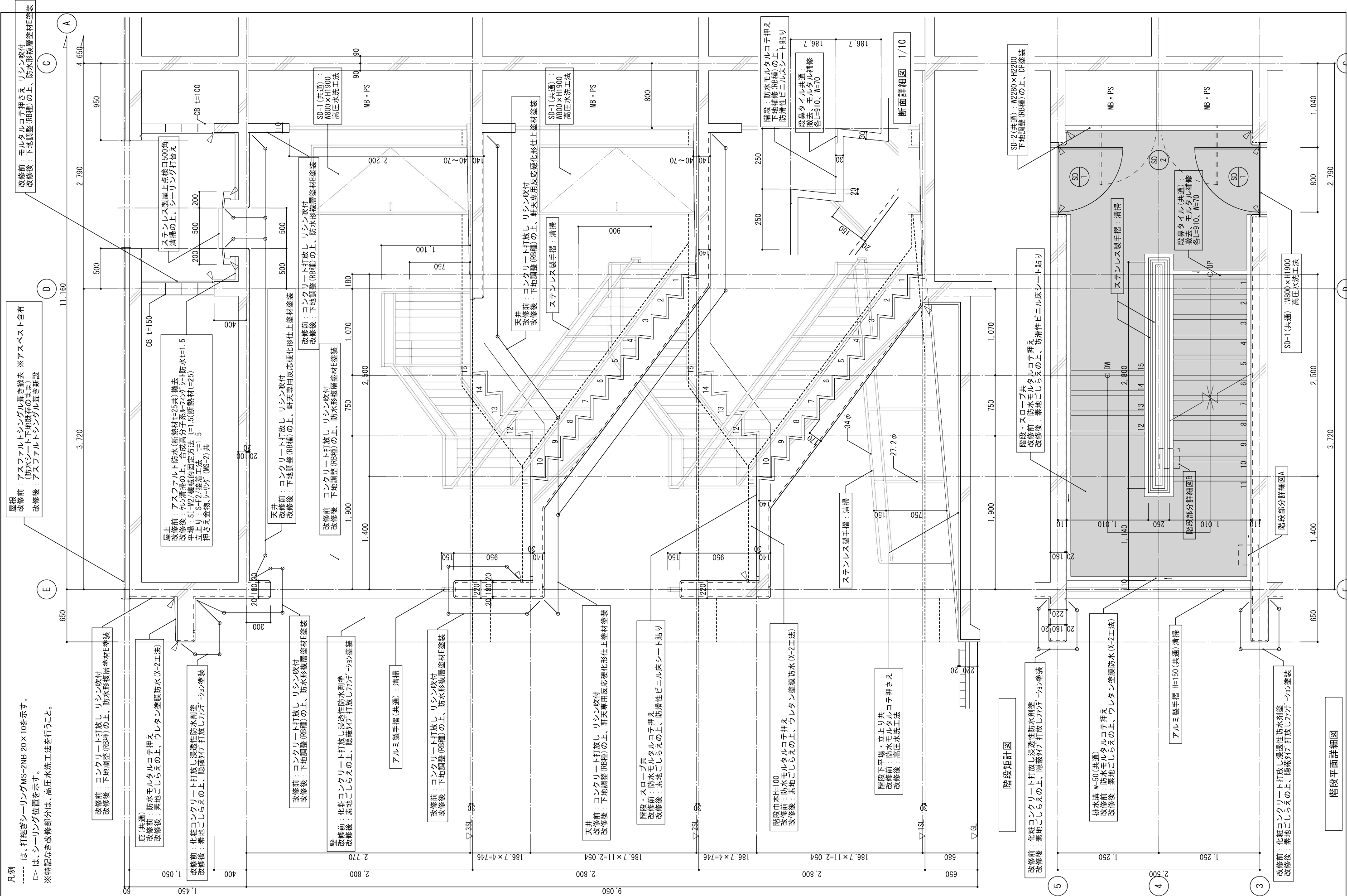


矩計図1

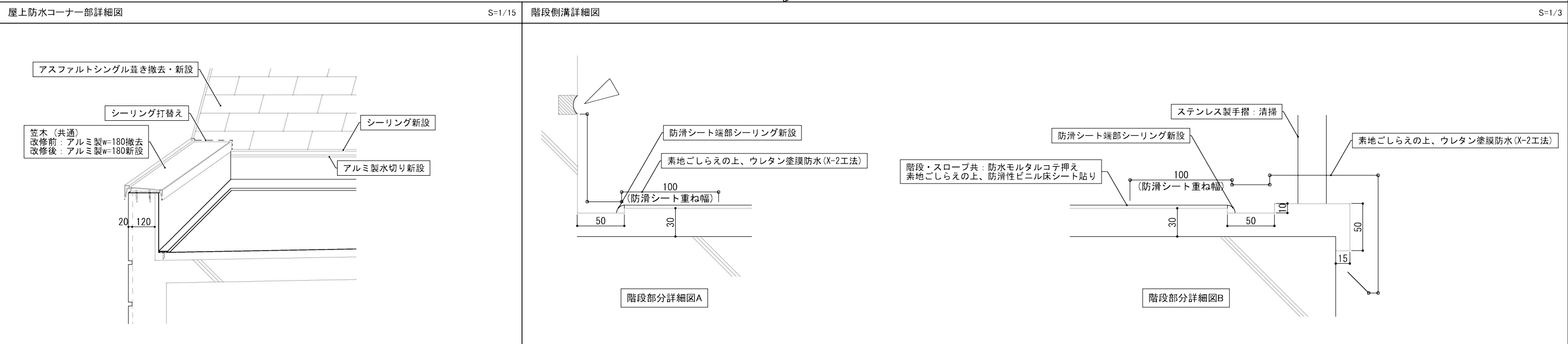
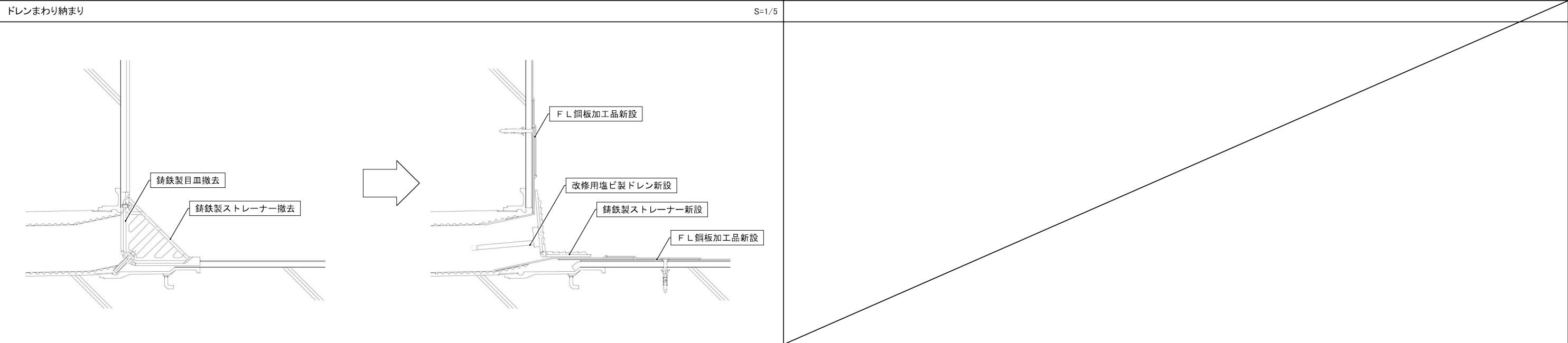
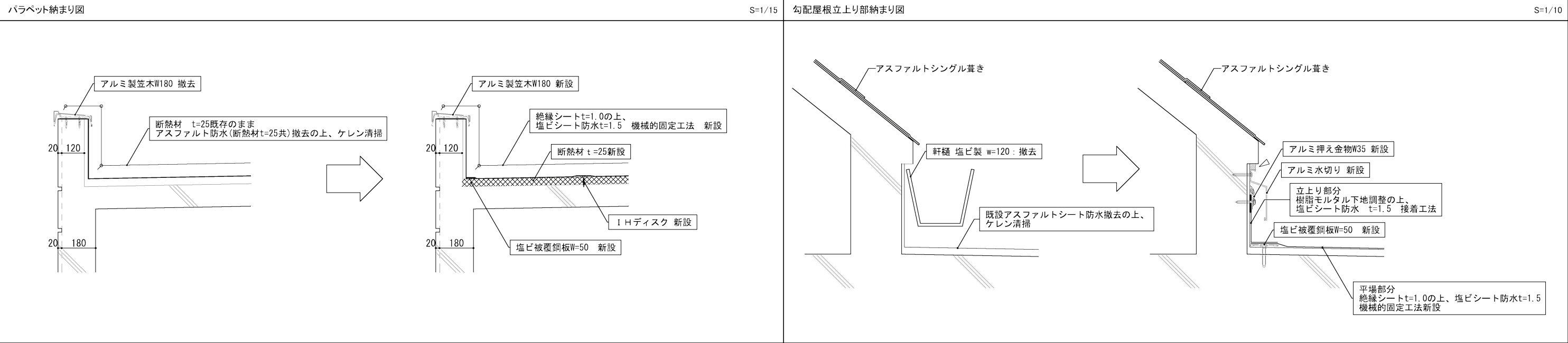
凡例
▷ は、シーリング位置を示す。
※特記なき改修部分は、高圧水洗工法を行うこと。

記 事	加 東 市 役 所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 T E L 0 7 9 5 - 4 2 - 3 3 0 1 (代表)			所長	管理建築士	総括	担当	作図	工 事 名 令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事	設計図	整理番号	図面番号				
				日 付									1号棟 矩計図1	§:1/30	§:	A-011
				2022. 7									§:	§:		



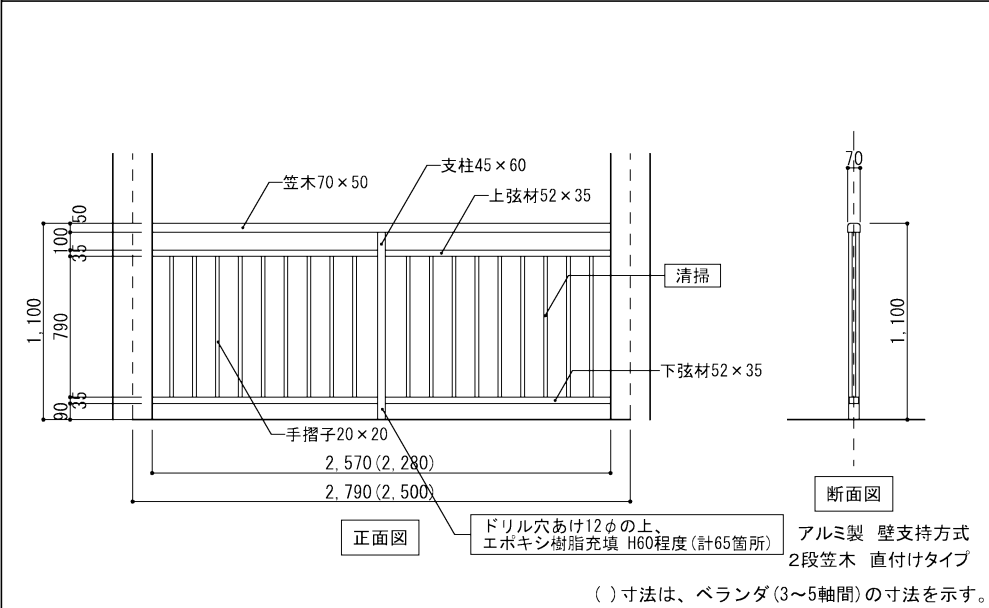
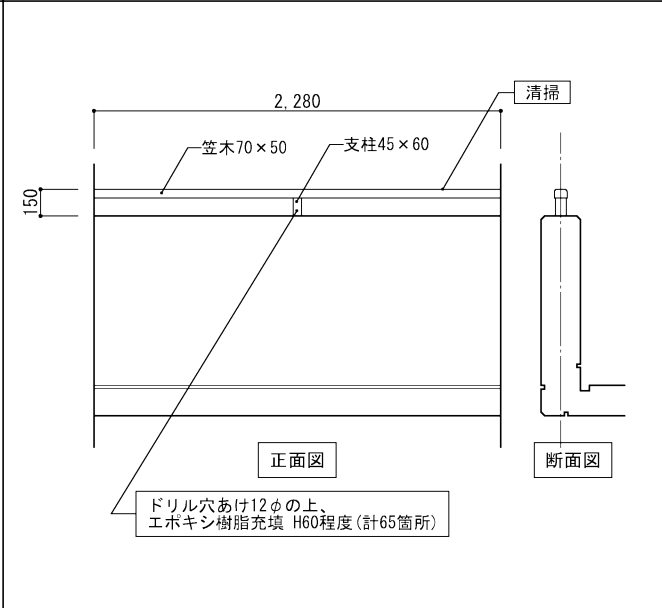
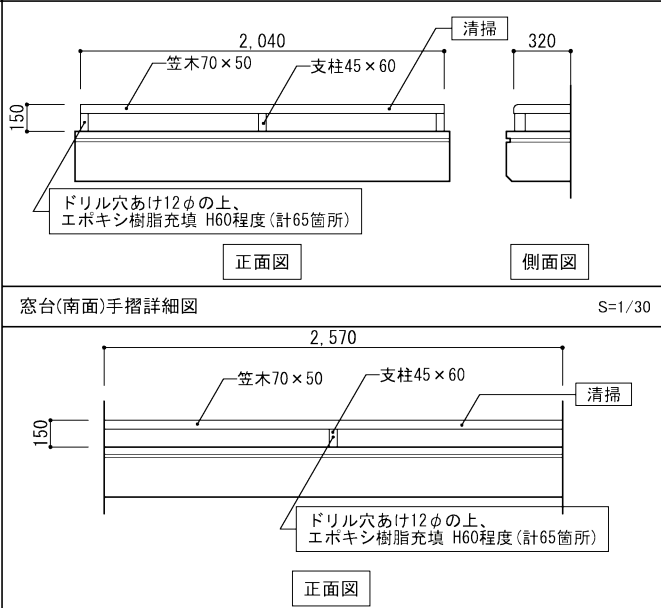
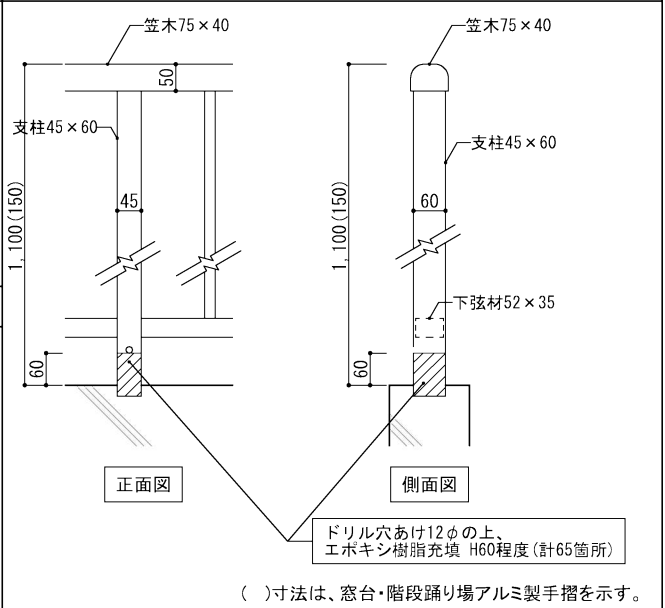
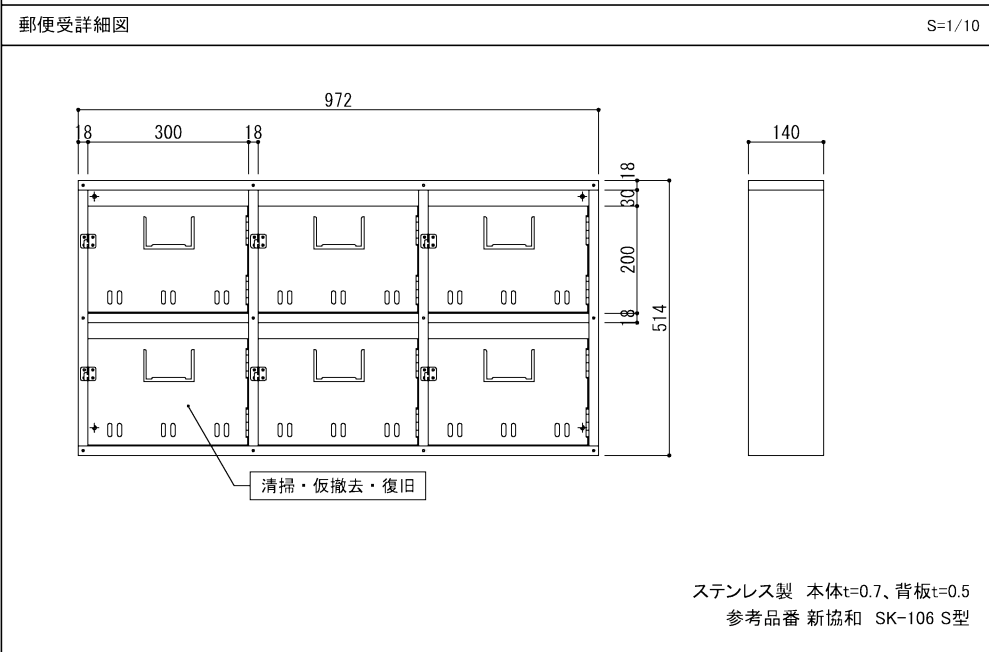
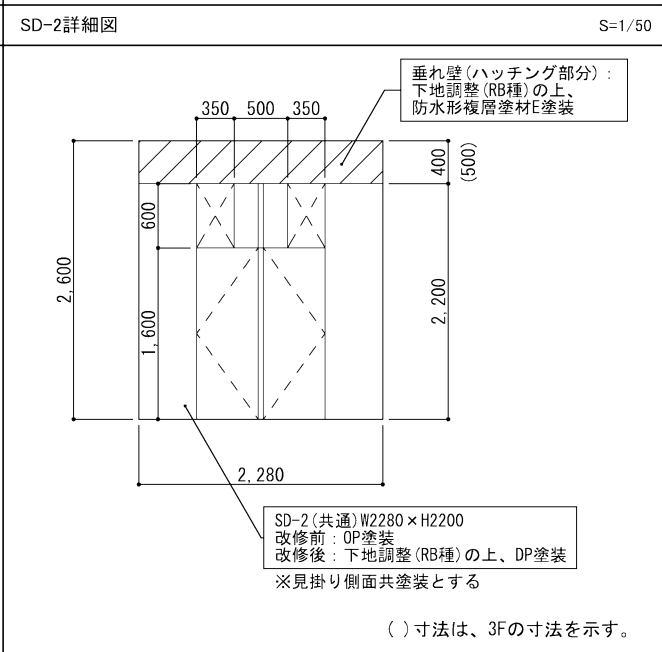
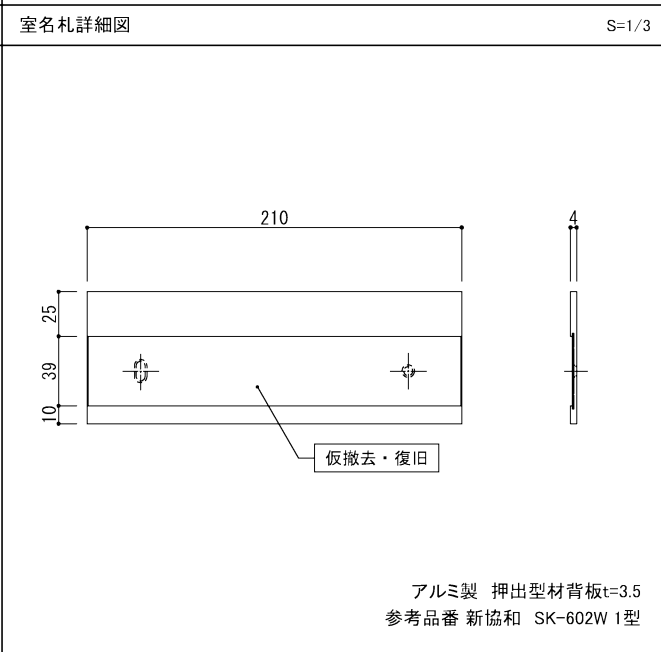
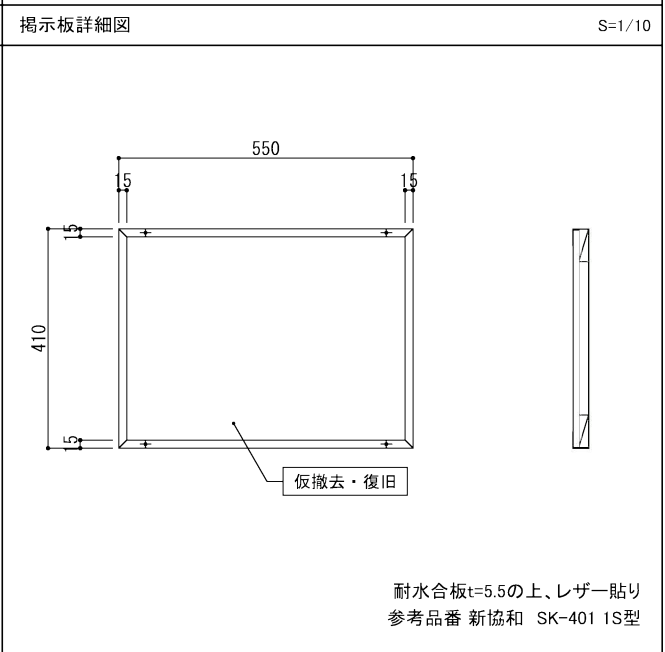
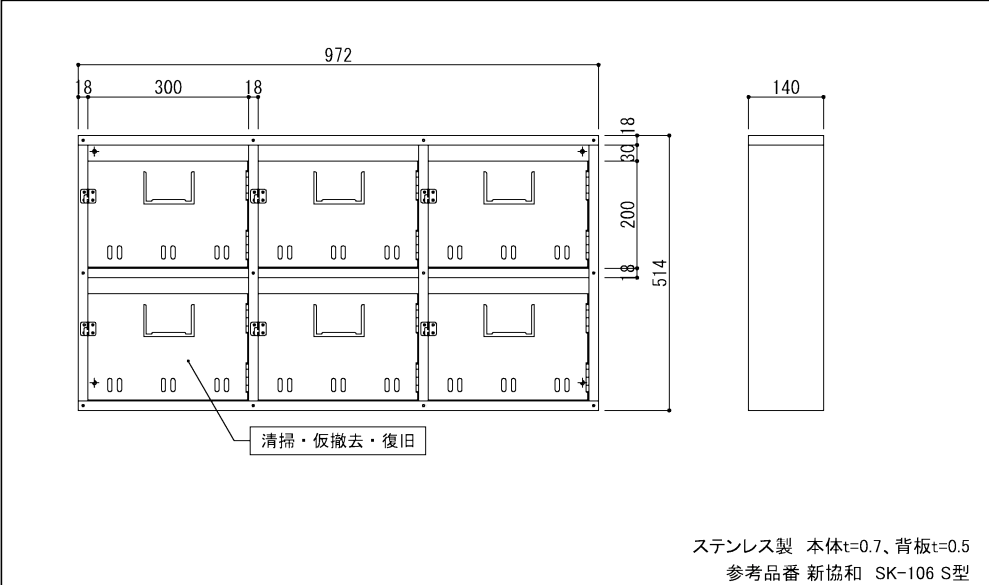
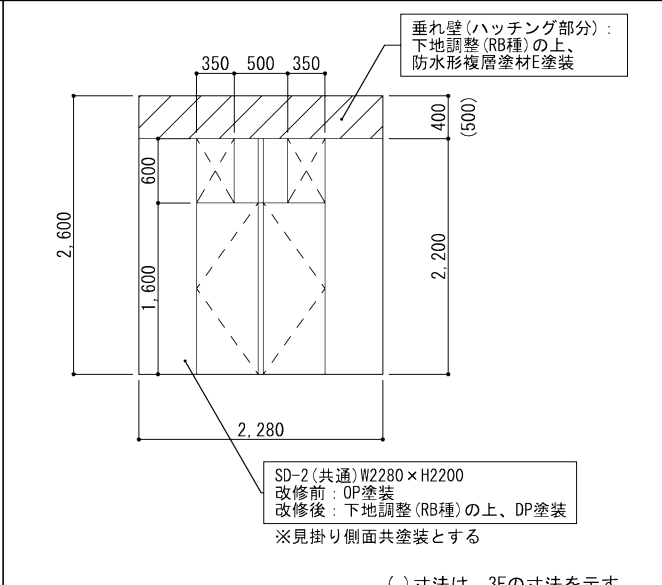
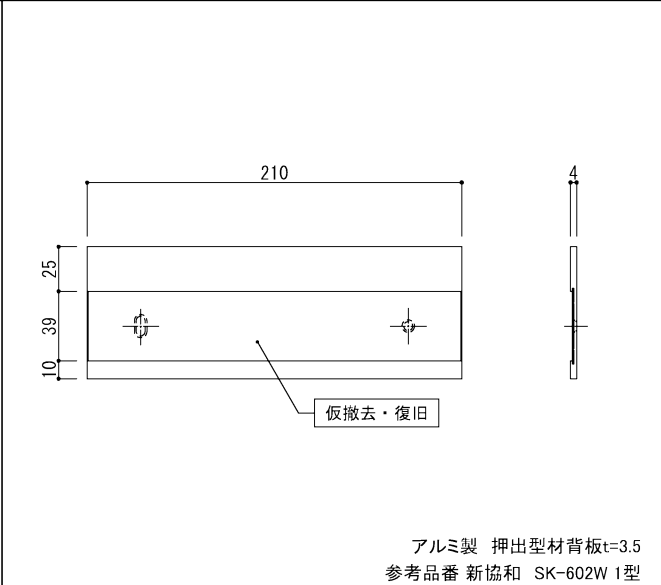
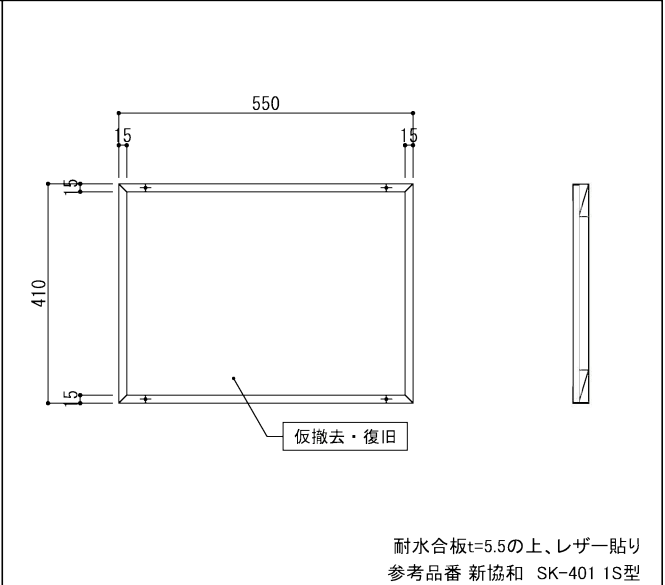
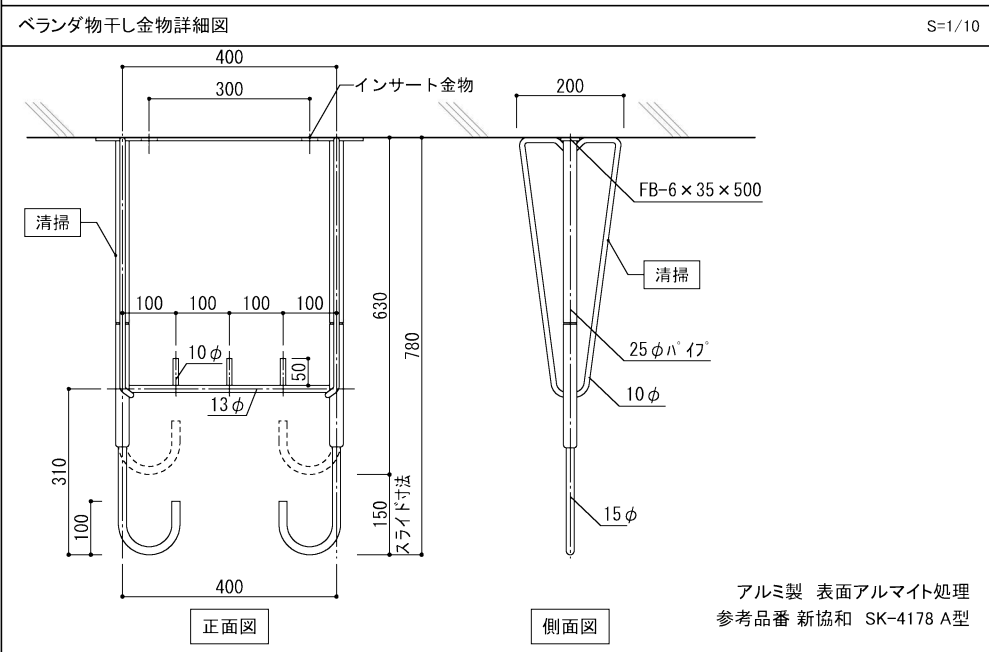
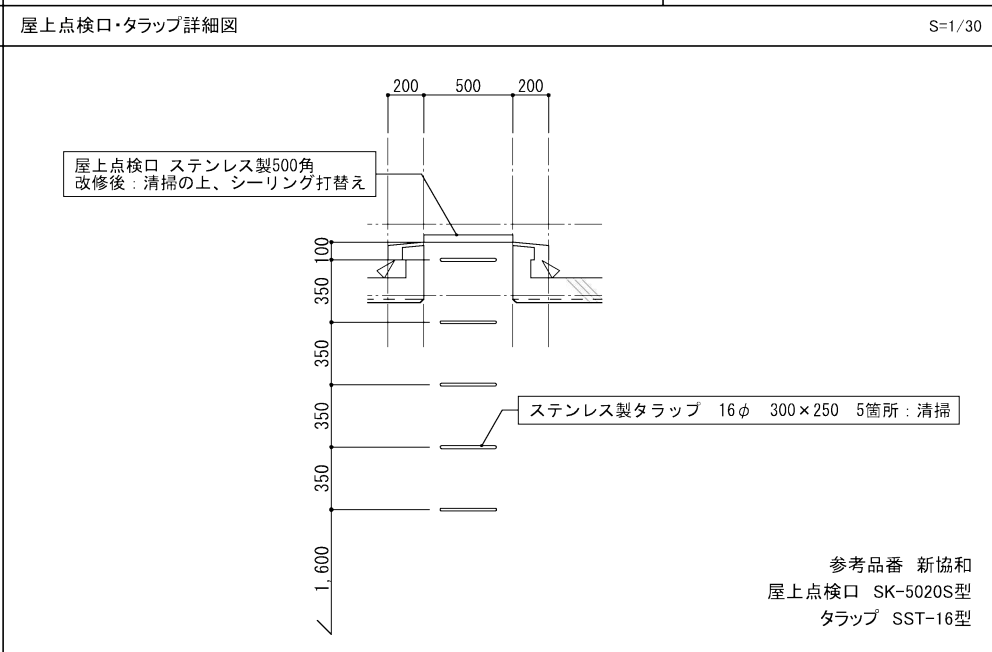
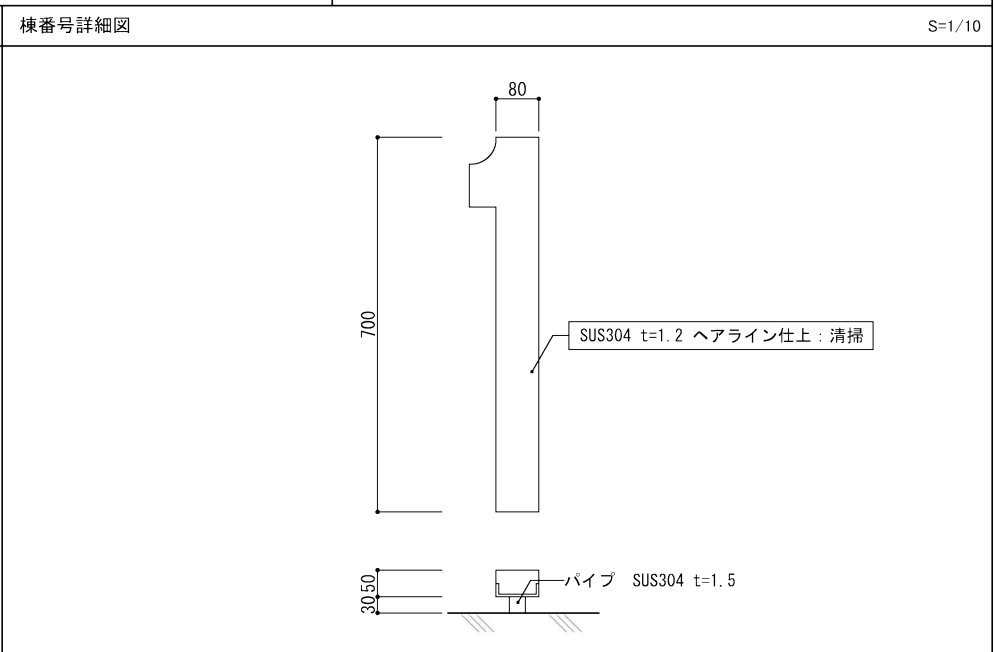
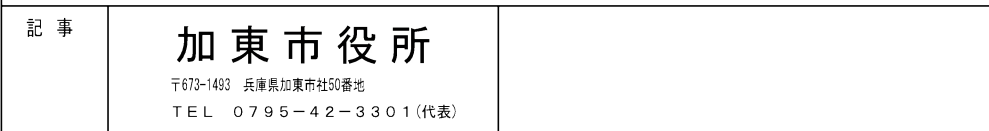
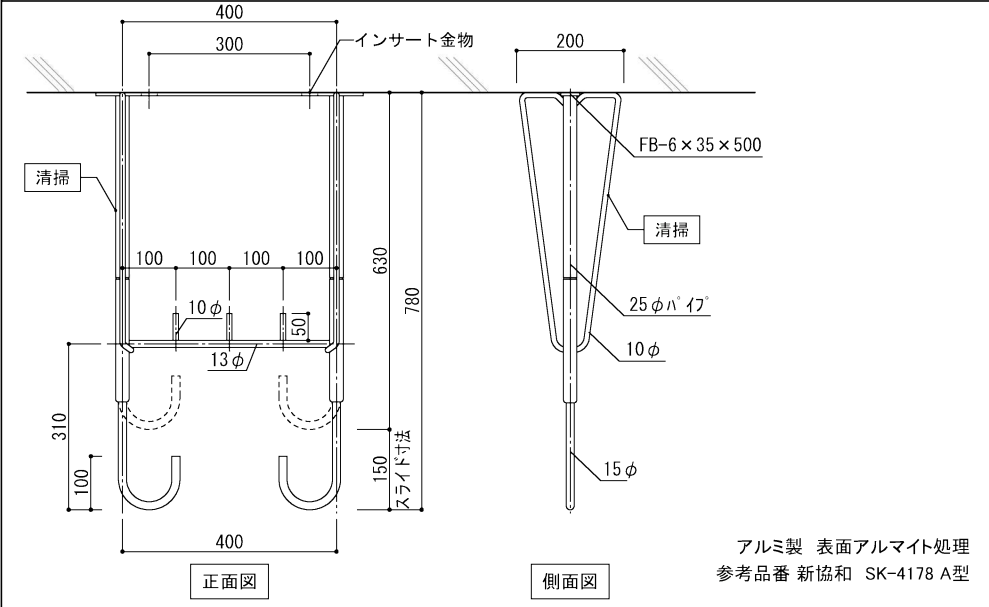
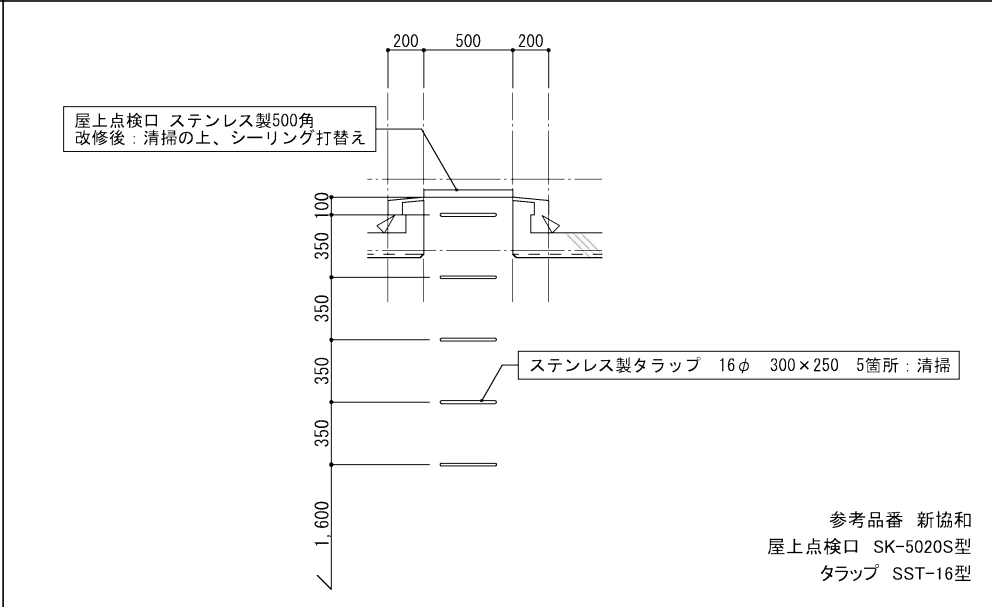
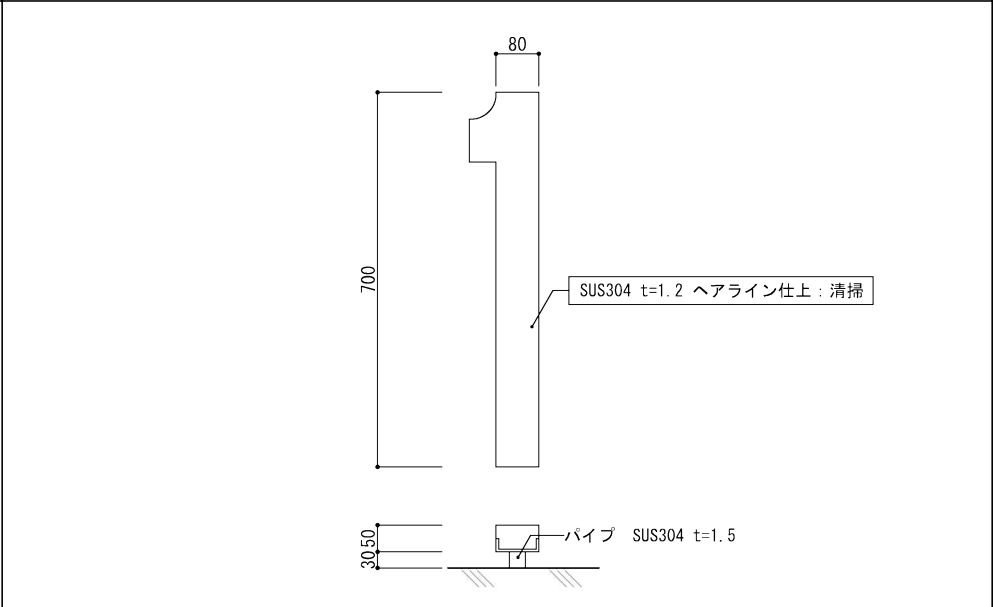
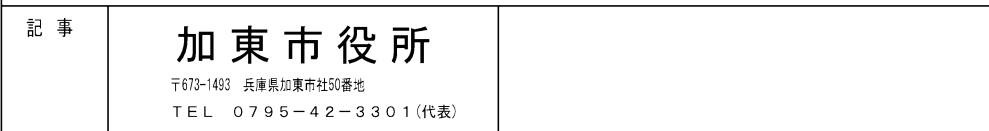
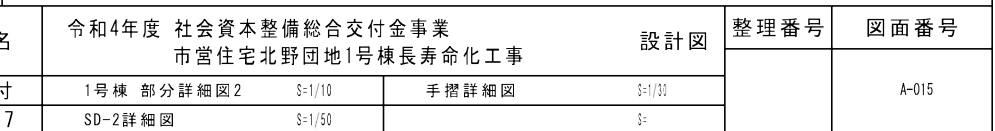


記 事	加 東 市 役 所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 T E L 0 7 9 5 - 4 2 - 3 3 0 1 (代表)			所長	管理建築士	総括	担当	作図	工 事 名	令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事		設計図	整理番号	図面番号
				日 付		1号棟 階段詳細図	S-1/30	S-						
				2022. 7			S-	S-						

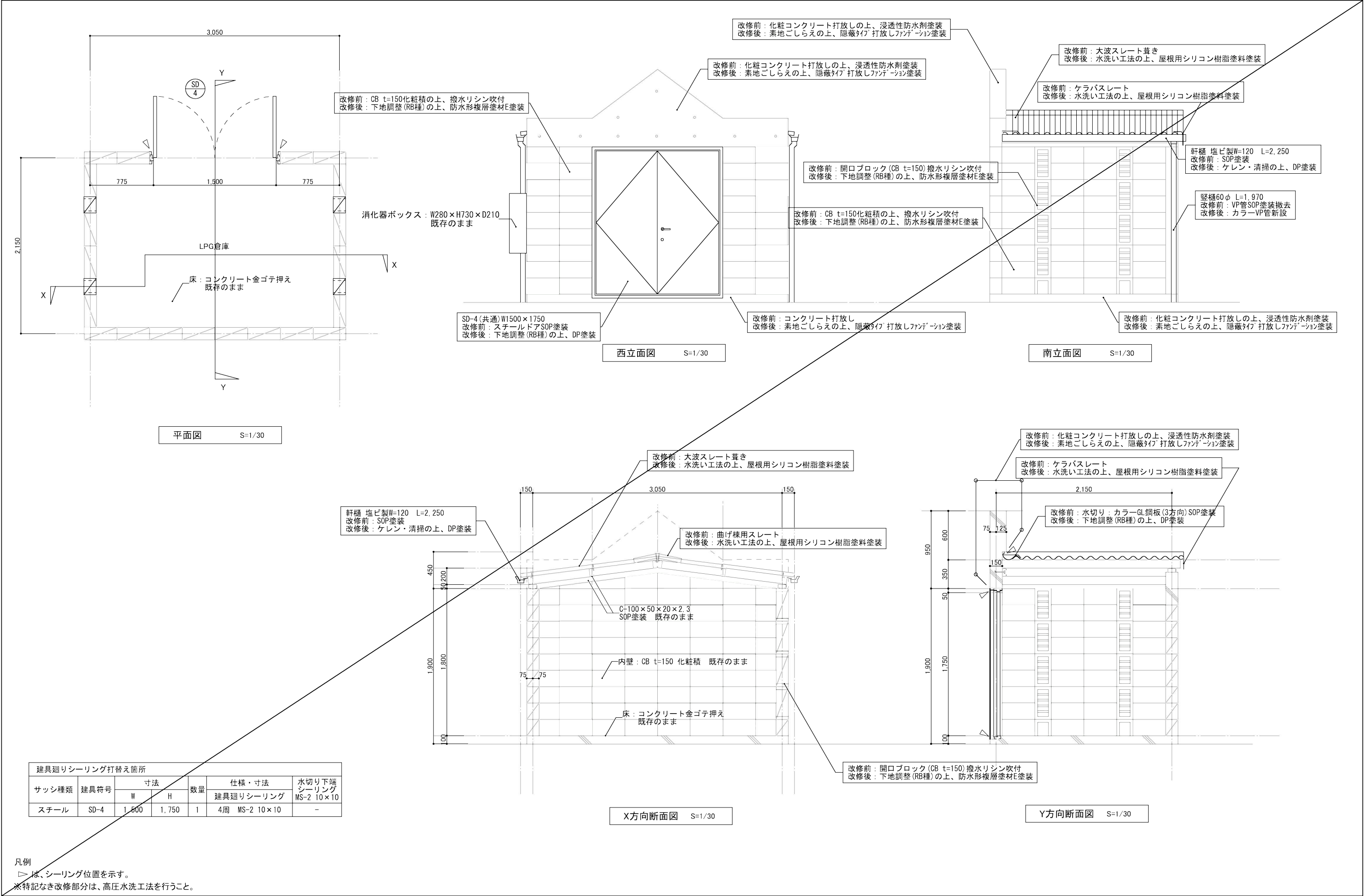


記 事	加 東 市 役 所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 T E L 0 7 9 5 - 4 2 - 3 3 0 1 (代表)		所 長	管理建築士	総 括	担 当	作 図	工 事 名	令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事		設計図	整理番号	図面番号
			日 付	1号棟 部分詳細図1	S=1/10	パラベット納まり図	S=1/15		A-014				
			2022.7	ドレンまわり納まり	S=1/5	階段側溝詳細図	S=1/3						

※図面表記縮尺はA2印刷の場合の縮尺とし A3縮小印刷の場合はNS(ノンスケール)とする

ベランダ・室外機置場手摺詳細図			S=1/30			階段腰壁手摺詳細図			S=1/30			窓台(東西面)手摺詳細図			S=1/30			アルミ製手摺ドリル穴あけ詳細図			S=1/10		
																							
郵便受詳細図			S=1/10			SD-2詳細図			S=1/50			室名札詳細図			S=1/3			掲示板詳細図			S=1/10		
																							
ベランダ物干し金物詳細図			S=1/10			屋上点検口・タラップ詳細図			S=1/30			棟番号詳細図			S=1/10			記事			加東市役所		
																		令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事			設計図		
記事			加東市役所			所長			管理建築士			総括			担当			作図			工事名		
〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 TEL 0795-42-3301(代表)																					令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事		
																					日付		
																					2022.7		
																					1号棟 部分詳細図2		
																					SD-2詳細図		
																					手摺詳細図		
																					整理番号		
																					図面番号		
																					A-015		

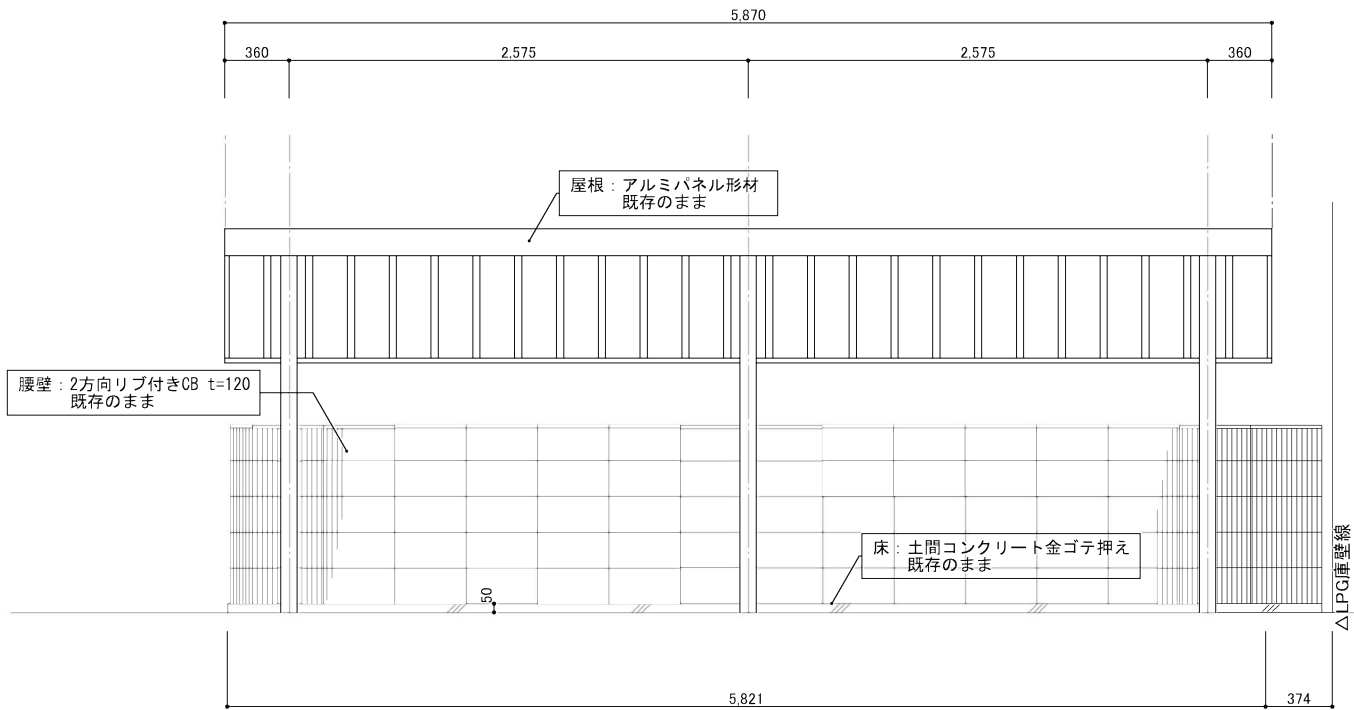
※図面表記縮尺はA2印刷の場合の縮尺とし A3縮小印刷の場合はNS(ノンスケール)とする



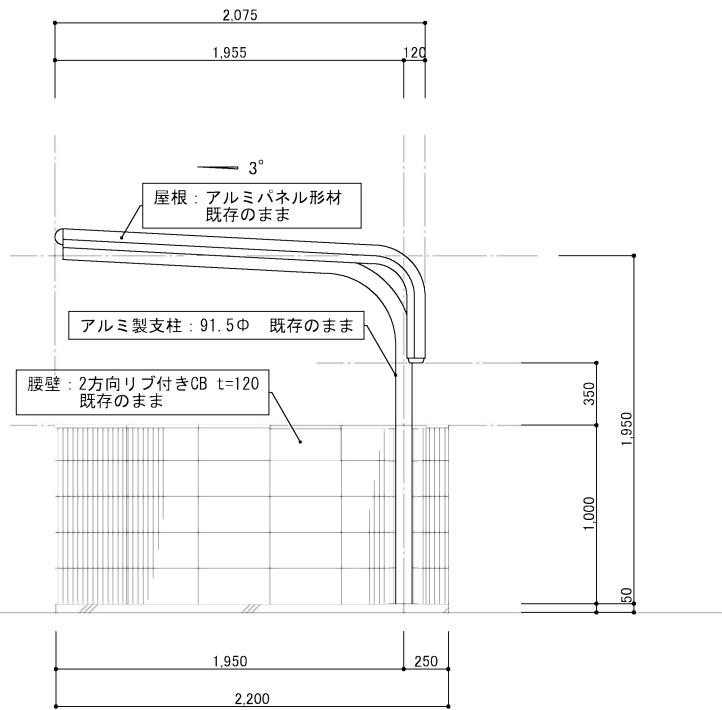
建具廻りシーリング打替え箇所						
サッシ種類	建具符号	寸法		数量	仕様・寸法	
		W	H		建具廻りシーリング	水切り下端 シーリング
スチール	SD-4	1,600	1,750	1	4周 MS-2 10×10	MS-2 10×10 -

記事	加東市役所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 TEL 0795-42-3301 (代表)						所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名 令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事	設計図	整理番号	図面番号 A-017

※図面表記総尺はA2印刷の場合の縮尺とし A3縮小印刷の場合はNS(ノンスケール)とする



正面図 S=1/30

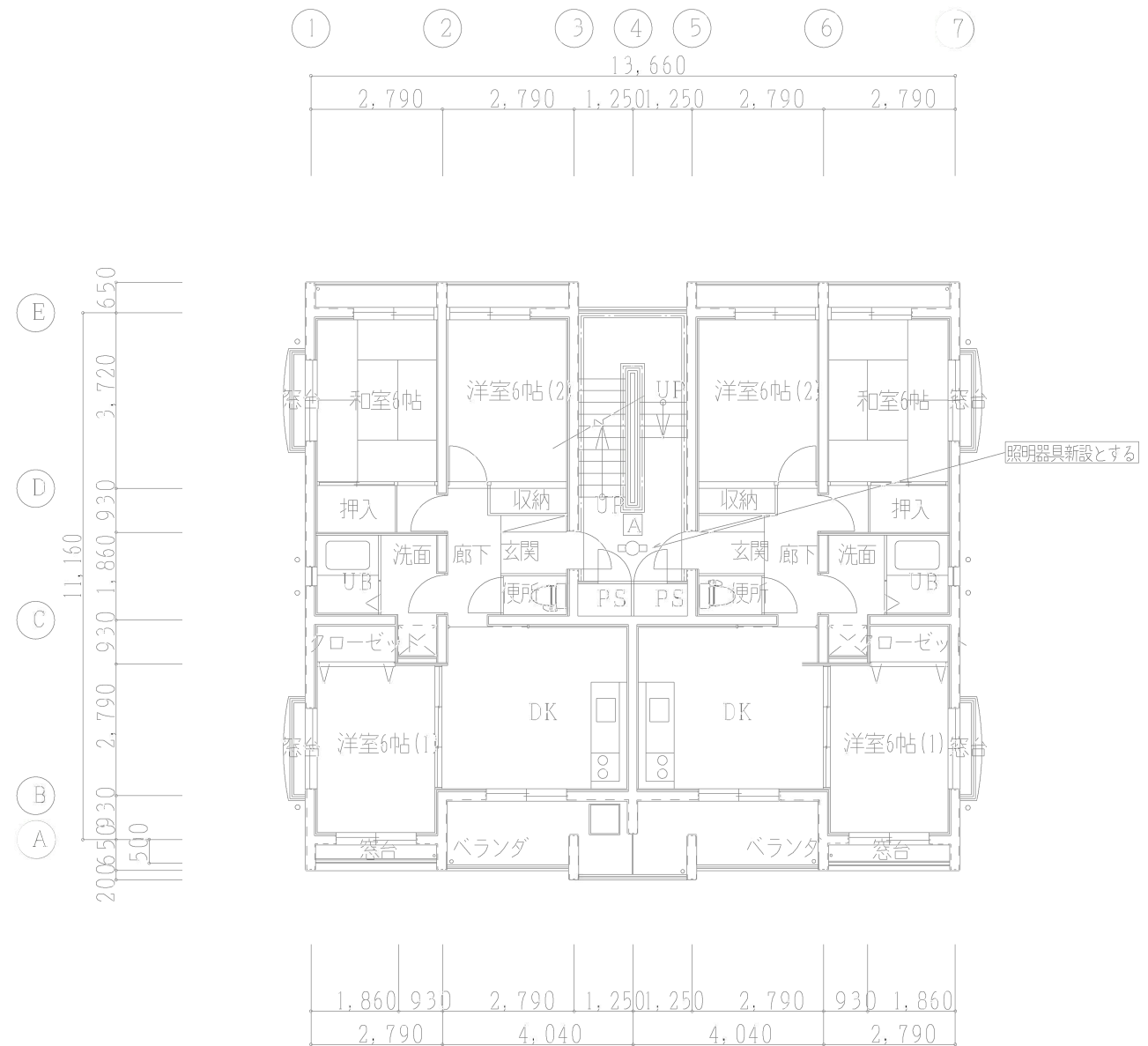
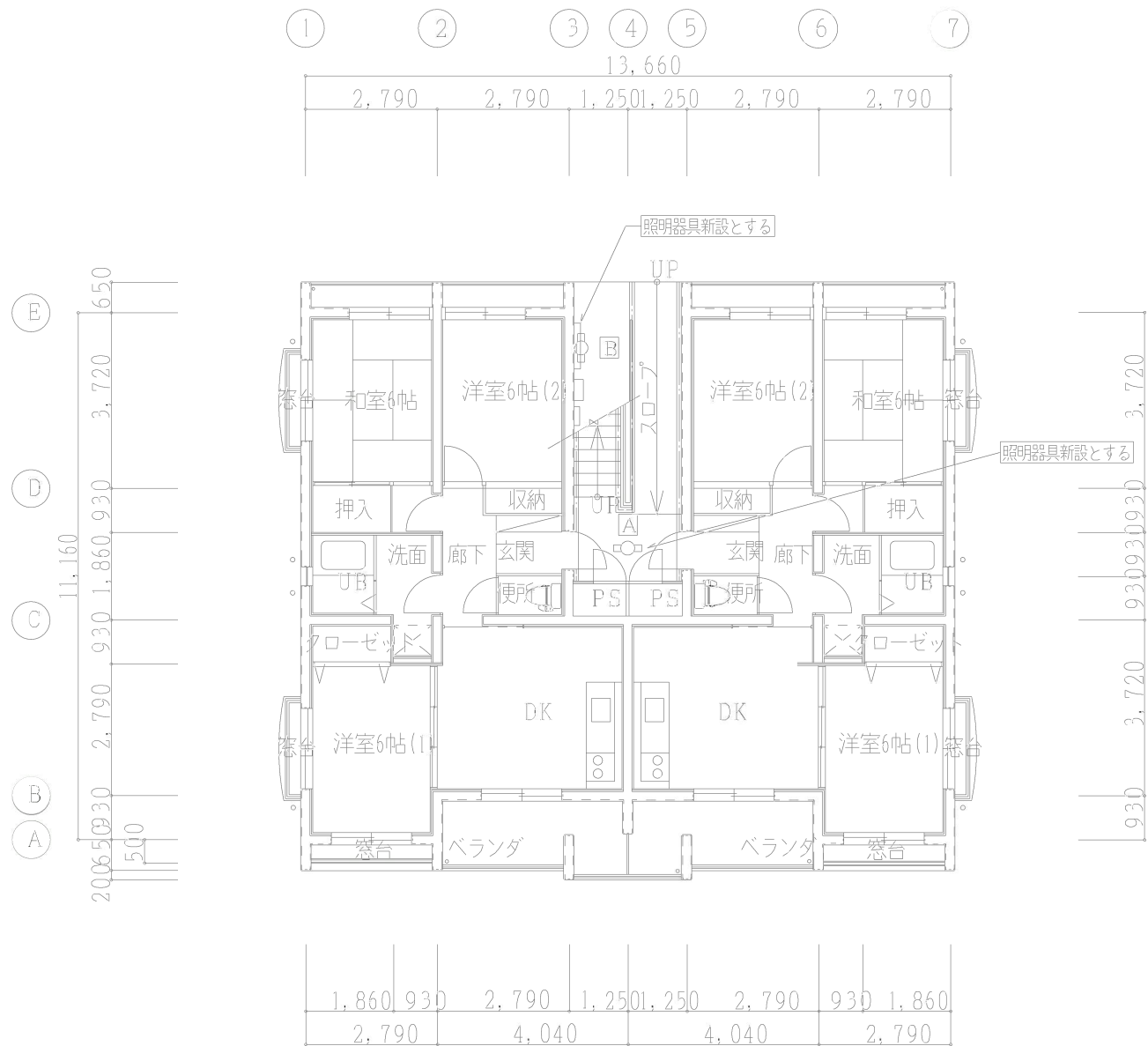


側面図 S=1/30

※屋根、腰壁、支柱、床：すべて高圧水洗工法とする。

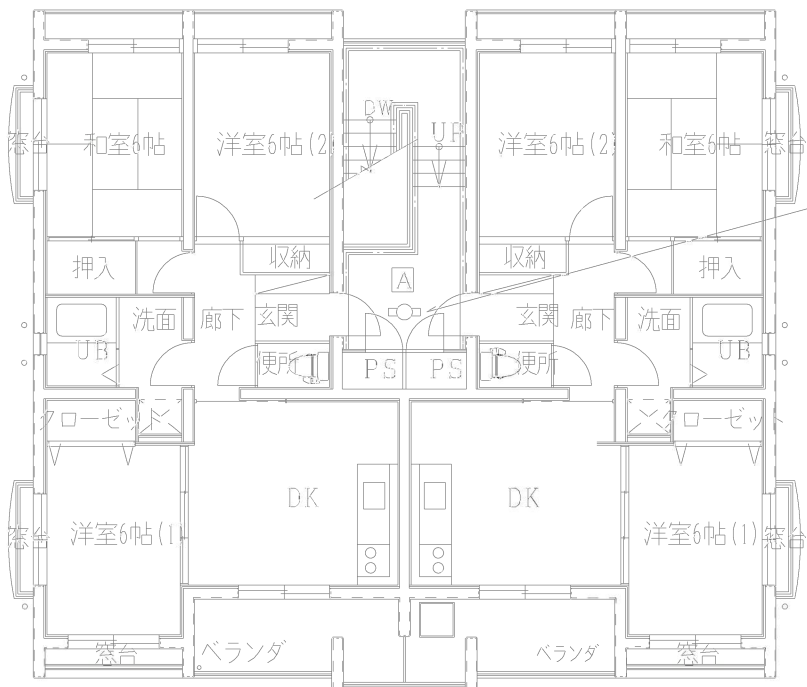
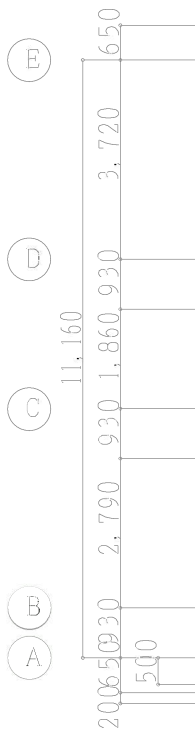
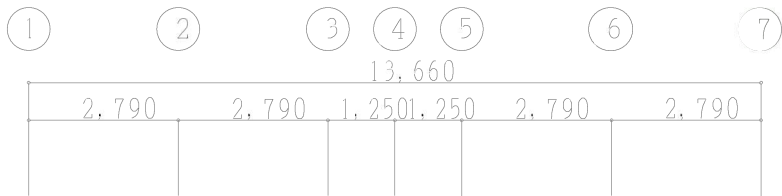
記 事	加 東 市 役 所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 T E L 0 7 9 5 - 4 2 - 3 3 0 1 (代表)									所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事	設計図	整理番号	図面番号
											</								

※図面表記総尺はA2印刷の場合の縮尺とし A3縮小印刷の場合はNS(ノンスケール)とする



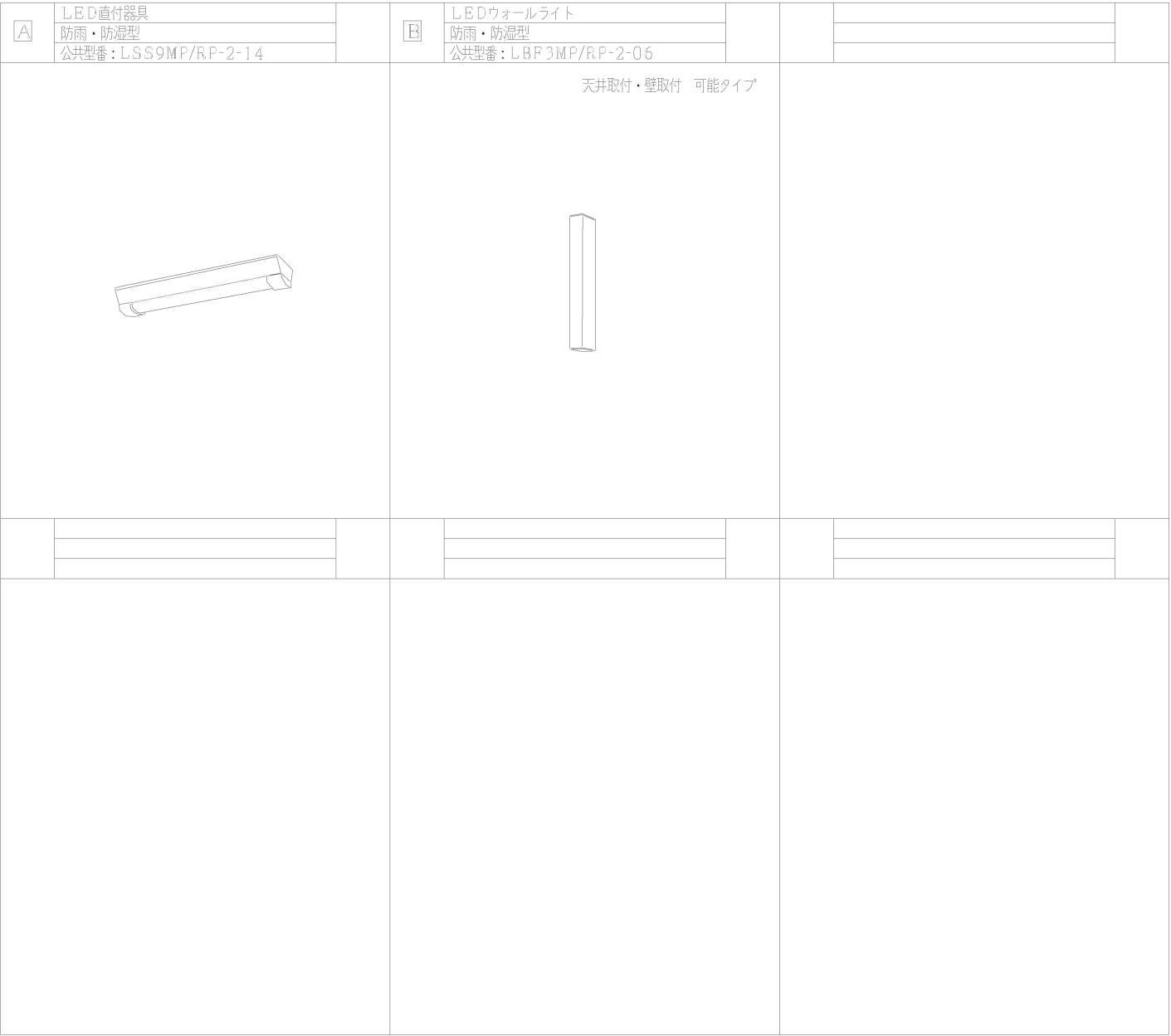
記 事	加 東 市 役 所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 TEL 0795-42-3301(代表)						所 長	管理建築士	総 括	担 当	作 図	工 事 名	令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事	設計 図	整 理 番 号	図 面 番 号
												日 付	1号棟 1階・2階平面図(改修図) 1/100	1/100		
												2022.7	1/100	1/100		

※図面表記縮尺はA2印刷の場合の縮尺とし A3縮小印刷の場合はNS(ノンスケール)とする



3F平面図

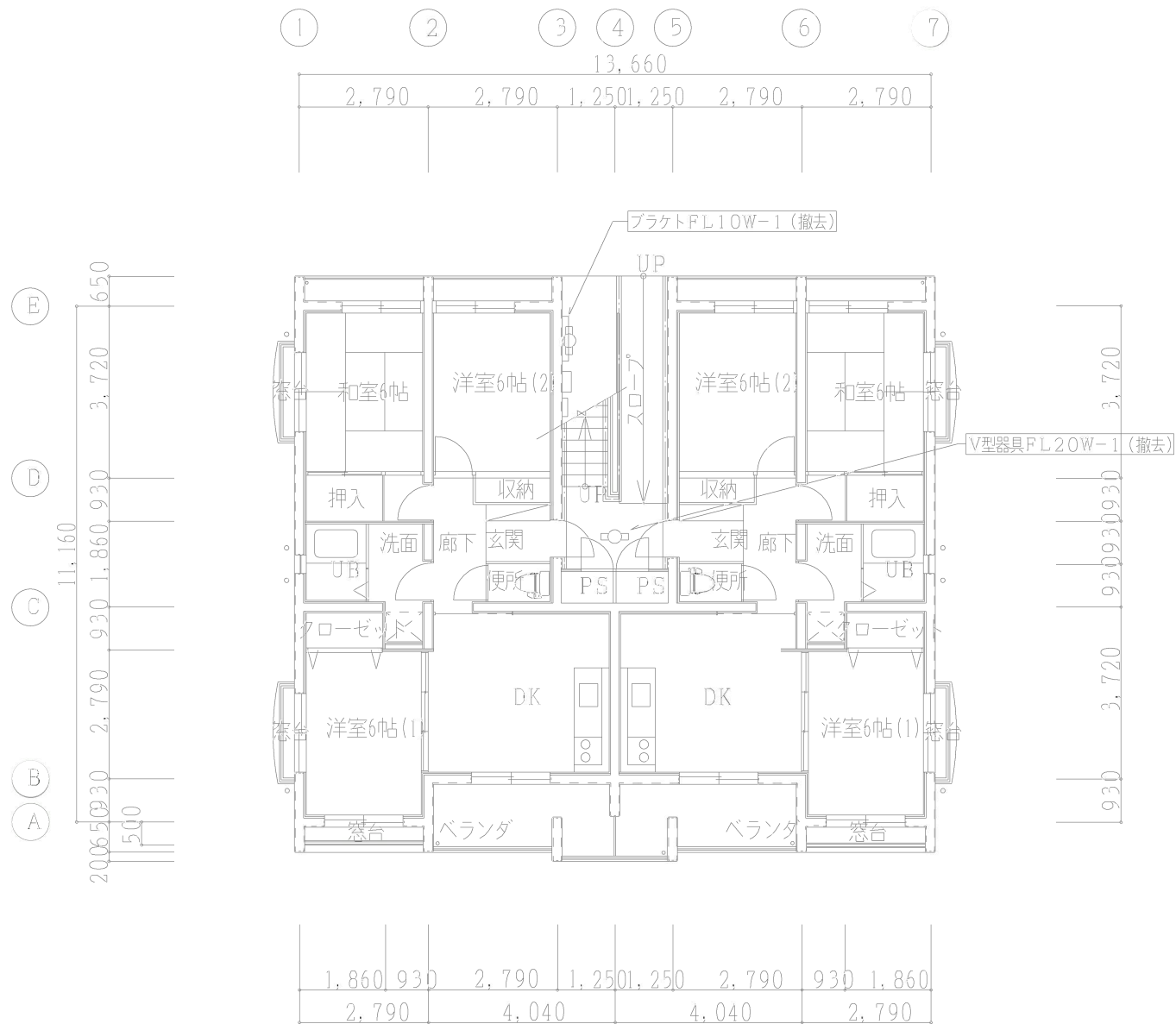
照明器具姿図



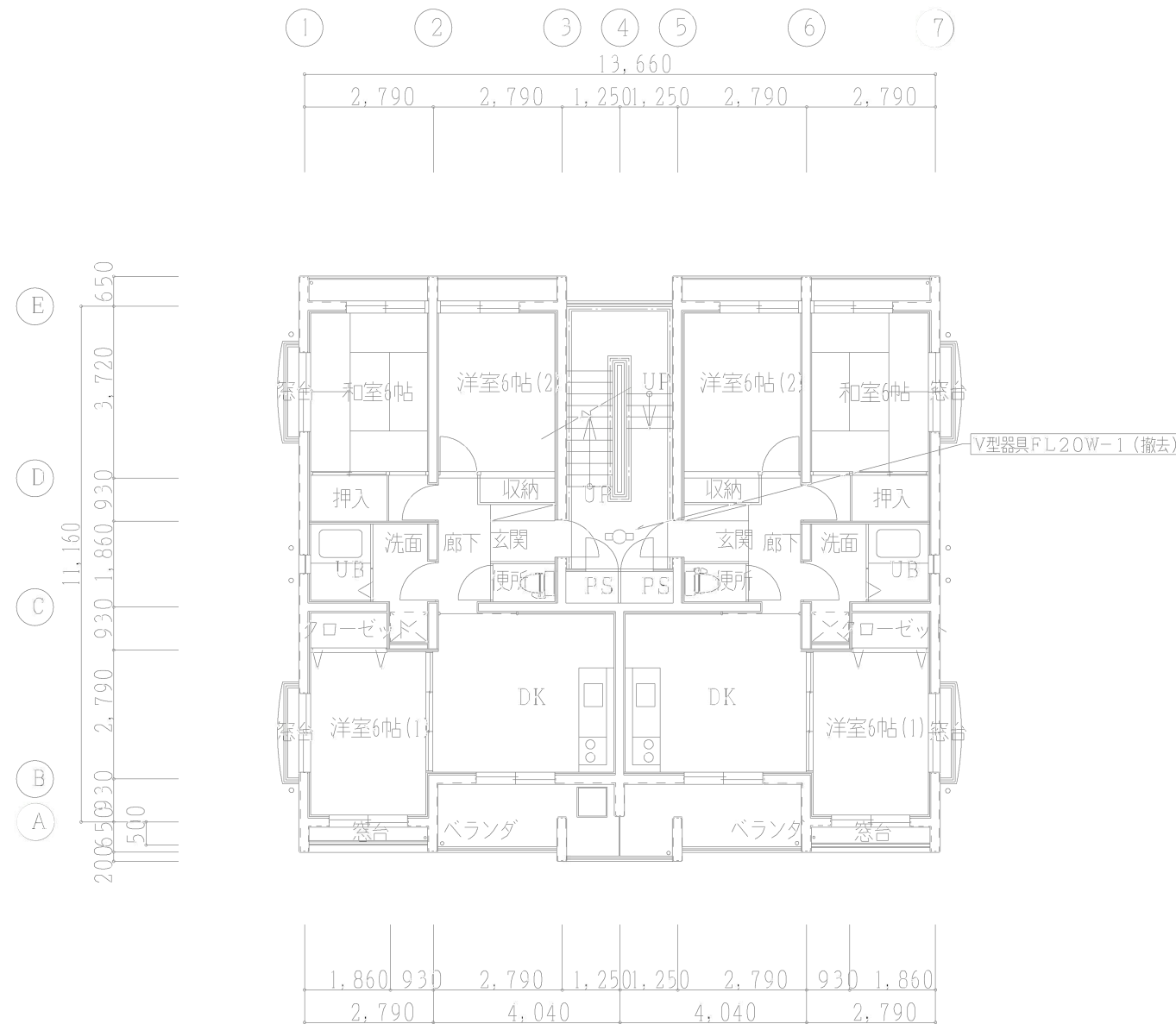
- (注)
- (1) 照明器具についてはすべてランプを含むものとする
 - (2) 照明器具の消費電力はJIS C 8105の測定方法による
 - (3) 窓のついた照明器具の消費電力は、一般社団法人日本照明器具工業会のガイド114による

記 事	加 東 市 役 所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 TEL 0795-42-3301(代表)						所 長	管理建築士	総 括	担 当	作 図	工 事 名	令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事	設計 図	整理番号	図面番号
												日 付	1号棟 3階平面図(改修図)	\$\$\$1:100	\$\$\$	E-002
												2022.7		\$\$\$	\$\$\$	

※図面表記縮尺はA2印刷の場合の縮尺とし A3縮小印刷の場合はNS(ノンスケール)とする



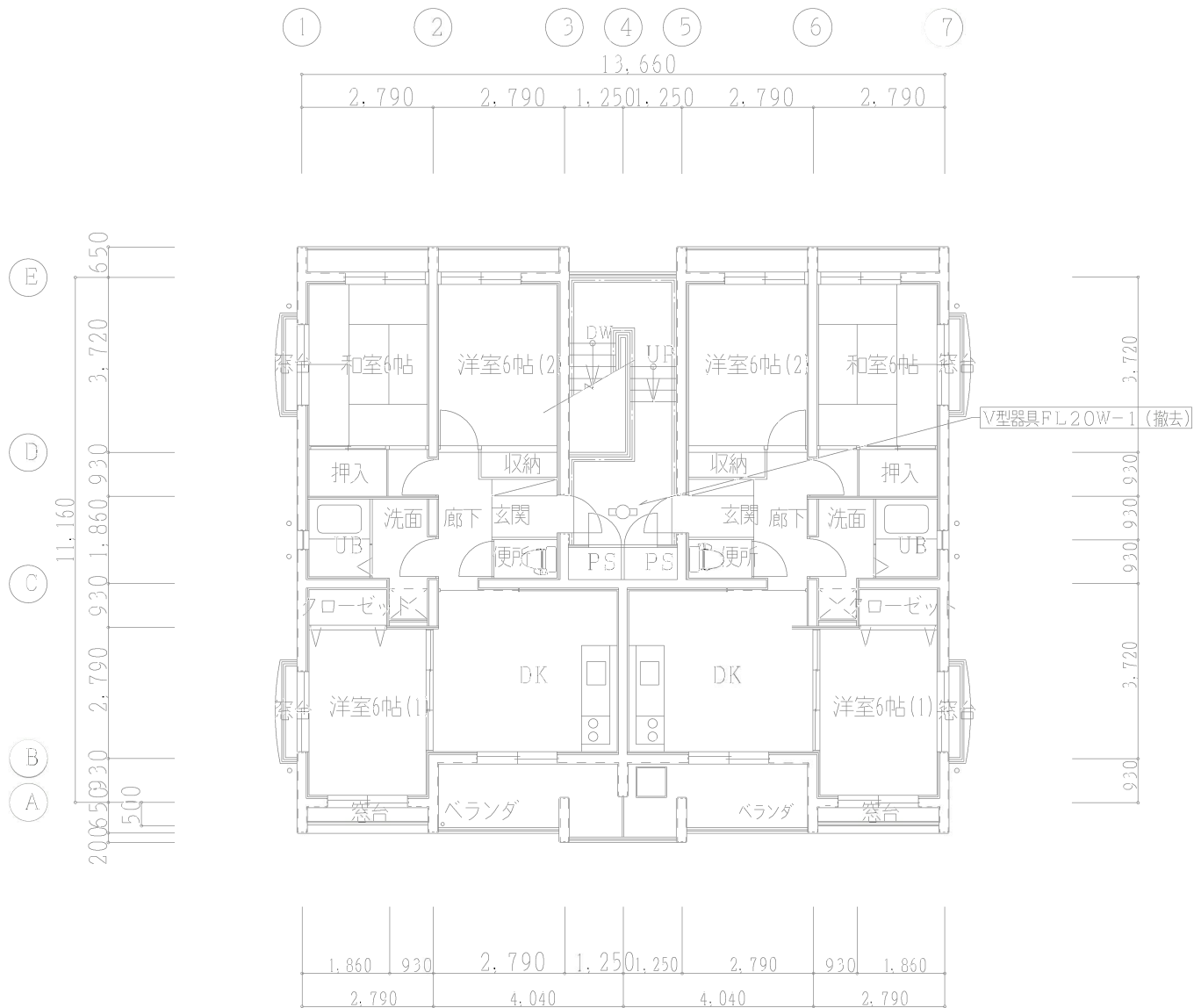
1F平面図



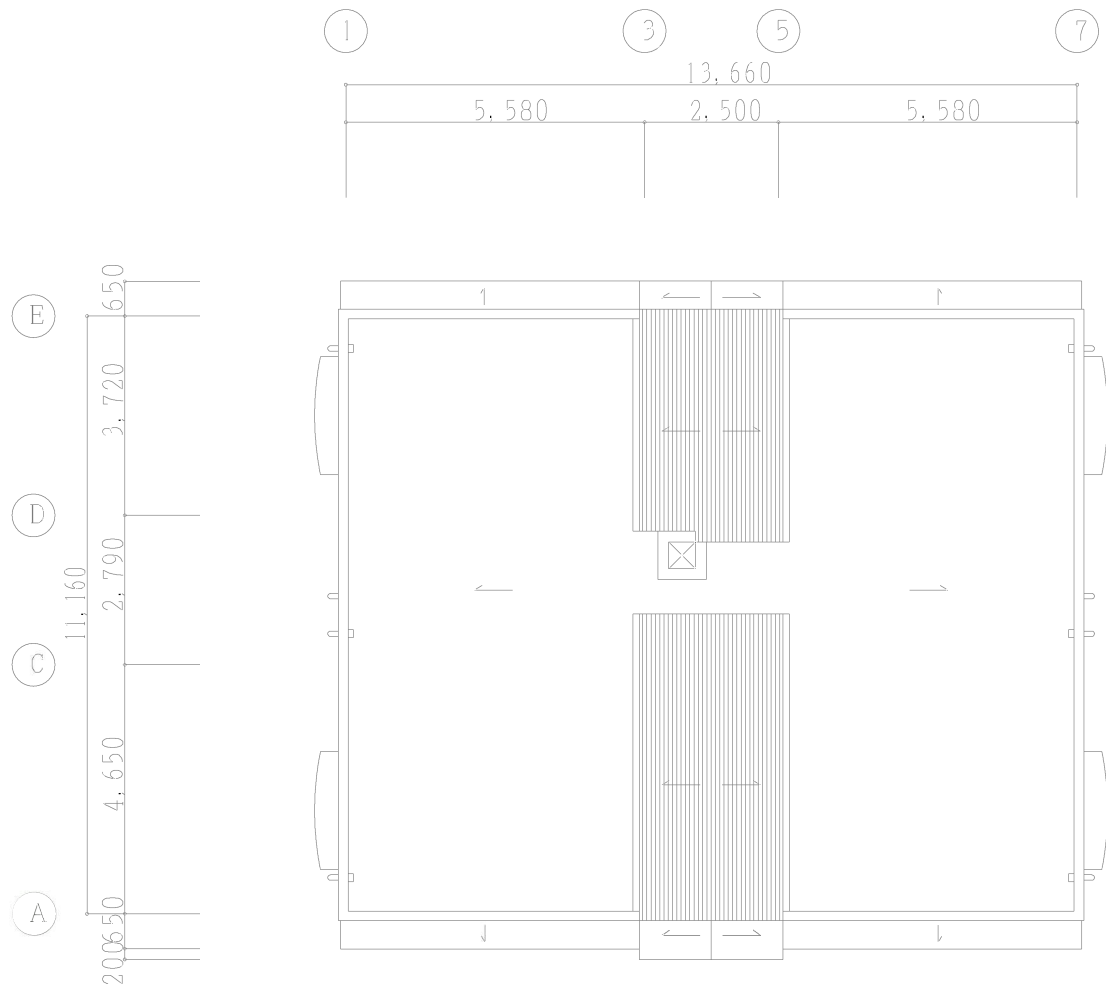
2F平面図

記事	加東市役所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 TEL 0795-42-3301(代表)					所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事	設計図	整理番号	図面番号 E-003
											日付	1号棟 1階・2階平面図(撤去図) 1/100	1/100		
											2022.7	1/100	1/100		

※図面表記縮尺はA2印刷の場合の縮尺とし A3縮小印刷の場合はNS(ノンスケール)とする



3F平面図



R.F.平面図

記 事	加 東 市 役 所 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 T E L 0 7 9 5 - 4 2 - 3 3 0 1 (代表)						所長	管理建築士	総括	担当	作図	工 事 名	令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市営住宅北野団地1号棟長寿命化工事	設計図	整理番号	図面番号
																E-004
												日 付	1号棟 3階平面図(撤去図)	§:1:100	§:	
												2022. 7		§:	§:	

※図面表記縮尺はA2印刷の場合の縮尺とし A3縮小印刷の場合はNS(ノンスケール)とする